

令和2年度厚生労働科学研究費補助金（障害者政策総合研究事業）

分担 研究報告書

機能訓練での標準化された評価手法の確立へ向けた試験調査に関する研究

研究代表者	菊地 尚久	千葉県千葉リハビリテーションセンター	センター長
研究分担者	田中 康之	千葉県千葉リハビリテーションセンター	地域リハ推進部長
研究協力者	三好 尉文	国立障害者リハビリテーションセンター	総合相談支援部長
	青木 一男	神奈川県総合リハビリテーションセンター	七沢自立支援ホーム副所長
	篠山 潤一	兵庫総合リハビリテーションセンター	自立生活訓練部部长
	篠原 正倫	千葉県千葉リハビリテーションセンター	更生園支援部部长

研究要旨

機能訓練では、地域生活を営む上で身体機能・生活能力の維持・向上等のため 理学療法、作業療法などのリハビリテーション、生活等に関する相談及び助言等の支援を提供しているが、利用意向や帰結が障害種別によって多様性があることが先行研究からわかっている。そして、目標達成に向けた支援を行うにあたり、帰結だけではプログラム提供の効果測定ができない。また、機能訓練の標準的なアウトカム評価がないことから、事業所によって評価指標や評価基準に相違がある。当研究において標準的な評価指標について検討するための試験調査として、特定の事業所を対象に、既存の評価指標を用いて、機能訓練の効果に対する調査を実施した。この調査結果をもとに、設問や分析方法の修正を行ったうえで、令和3年度に本調査を行い、最終的には、標準的な評価指標を作成することを目指す。

A. 研究目的

機能訓練は十分な効果がある支援プログラムにより行われるべきであり、この効果を実証するための標準的な評価手法があるべきである。「自立訓練の実態把握に対する調査研究」の報告からはそれぞれの事業所により訓練内容や質が異なること、社会リハビリテーションの内容の広さもあって、適切に標準化された評価手法が確立されていないことが課題として挙げられている。本研究はそれぞれの事業所において標準的な評価手法のもとに十分な効果がある支援プログラムが利用者全てに適用されることを目的として行う。

令和2年度の研究においては、機能訓練の提供サービスに適した評価項目を検証するため、既存

の評価指標を用い試験的に調査し、評価項目ごとの傾向を分析し、次年度実施予定の大規模調査の調査票を完成させるために必要な情報収集を行うことを目的とする。

B. 研究方法

1. 対象

研究分担者・研究協力者の事業所及び研究協力団体(12事業所/83事例)

2. 調査内容

評価指標調査票に従い、機能訓練事業所の支援者及び利用者に対し、過去の評価データと聞き取りにて回答してもらった。

3. 方法

基礎項目として性別、年齢、家族背景、疾患名、障害名、障害者手帳、支援区分、介護区分の他、利用意向や支援の到達度。成果項目として社会参加、収入状況などの生活状況。評価項目として既存指標である FIM、IADL 尺度、RAS、WHO/QOL26、WHODAS、LSA、実用的歩行能力分類の 7 指標を用い収集したデータをクリーニングした後に、利用前後での変化、各因子の相関等について解析した。

4. 調査期間

令和 2 年 11 月 24 日～令和 3 年 1 月 10 日

5. 倫理面への配慮

調査対象となる利用者は匿名にてデータ収集を行い、分析の際には統計処理したデータを使用した。

C. 調査結果

1. 基本項目

本調査における対象者の属性ほか基礎項目については以下の通りであった。

(1) 性別と年齢

調査対象者の性別は、総数 83 名に対して男性が 80.7%、女性が 19.3%となっていた。(図 1)

また年齢分布は、20代が 10.8%、30代が 12.0%、40代が 34.9%、50代が 33.7%となっており、40代～50代で全体の約 7割を占めていた。(図 2)

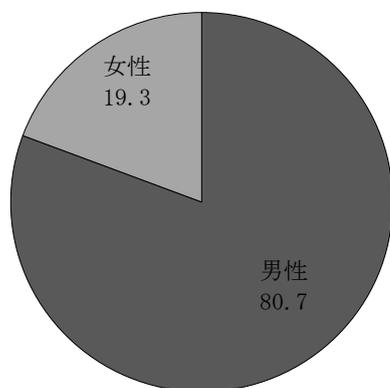


図 1:対象者の性別の割合 (n=83)

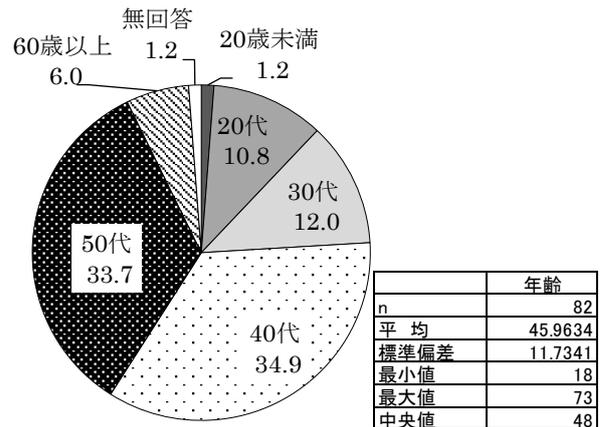


図 2:対象者の年齢分布 (n=83)

(2) 主たる障害と重複障害

主たる障害 (単一回答) については、「肢体 (下肢)」が 36.1%と最も多くなっており、これに続いて「肢体 (上肢)」が 28.9%、「視覚」が 15.7%、「高次脳機能」が 12.0%となっていた。

また重複障害 (複数回答) では、「肢体 (下肢)」が 43.4%、「肢体 (上肢)」が 38.6%、「高次脳機能」が 34.9%となっていた。(図 3)

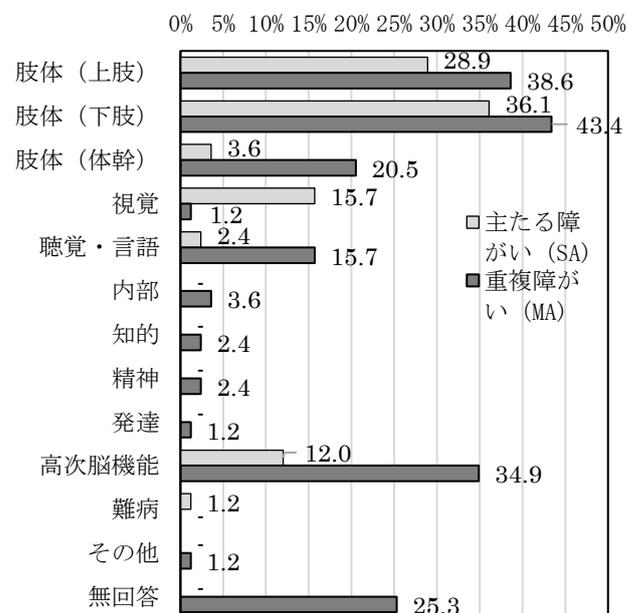


図 3:主たる障害・重複障害 (n=83)

(3) 精神分類

精神分類については、無回答が 76 名と多くなっ

ているが、回答においては「うつ病」が2.4%であり、その他「依存症」や「解離性障害」「強迫性障害」「睡眠障害」「統合失調症」「認知症」であった。

(図4)

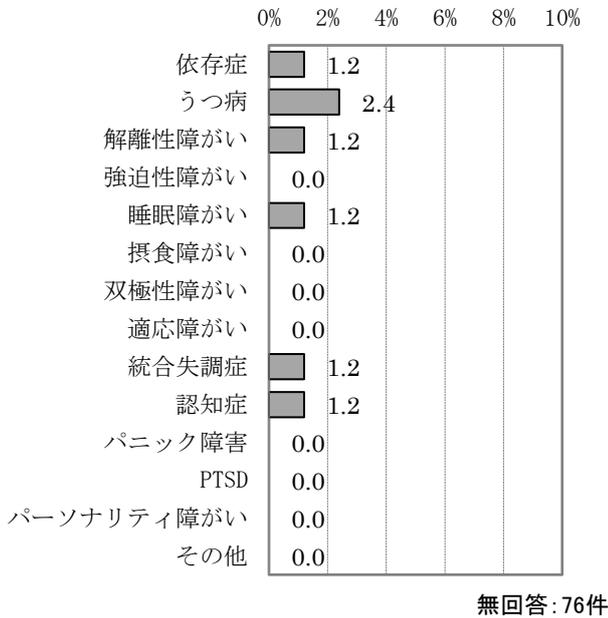


図4:精神分類 (n=83)

(4) 疾患名

疾患名では「脳血管疾患」が48.2%と最も多く、次いで「脊髄/頸髄損傷・疾患」が20.5%となっており、その他「外傷性脳損傷」や「脳性まひ」「難病等」となっていた。(図5)

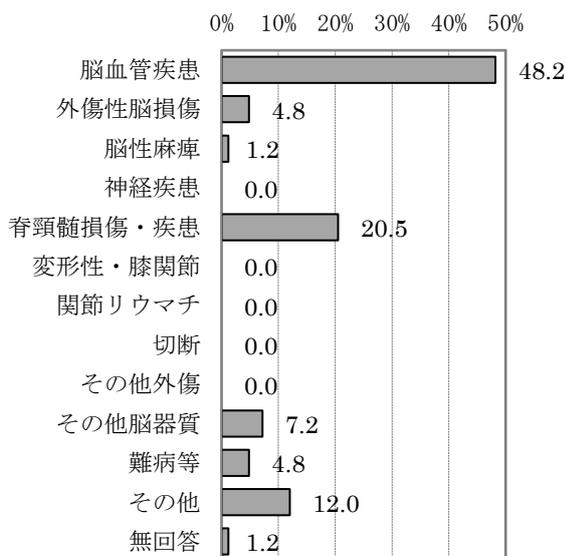


図5:対象者の疾患名 (n=83)

(5) 身体障害者手帳

対象者の身体障害者手帳の等級は「1級」が51.8%と最も多く、「2級」は30.1%となっており、「なし」と回答した方の割合は8.4%であった。

(図6)

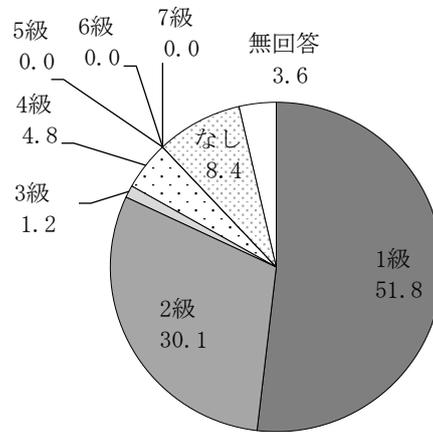


図6:身体障害者手帳の等級 (n=83)

(6) 精神障害者保健福祉手帳

対象者の精神障害者保健福祉手帳の等級については「なし」が44.6%となっており、「2級」で8.4%となっていた。(図7)

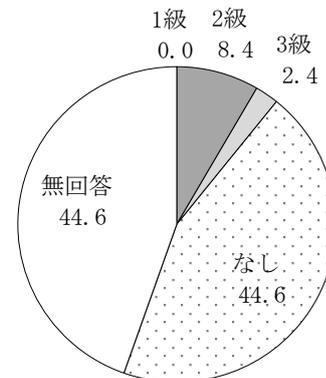


図7:精神障害者保健福祉手帳の等級 (n=83)

(7) 療育手帳

対象者の療育手帳の等級については「なし」が48.2%であった。(図8)

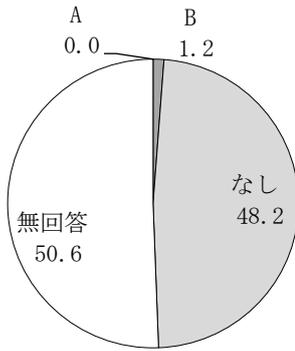


図 8:療育手帳の等級 (n=83)

(8) 障害支援区分

対象者の障害支援区分では「区分 3」が 21.7%で最も多く、次いで「区分 2」が 10.8%、「区分 4」および「区分 6」が 9.6%となっていた。(図 9)

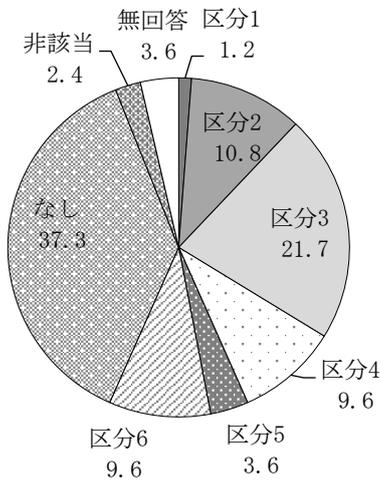


図:9 障害支援区分 (n=83)

(9) その他診断書など

対象者のその他診断書などでは「身体」が 26.5%で「精神」が 10.8%となっていた。(図 10)

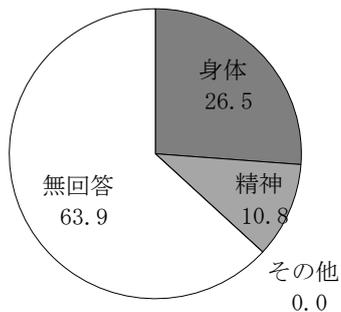


図 10 : その他診断書など (n=83)

(10) 要介護度

対象者の要介護度は「要介護 2」が 13.3%と最も多くなっており、次いで「要介護 1」が 8.4%となっていた。また「非該当」は 14.5%、「未申請」は 26.5%となっていた。(図 11)

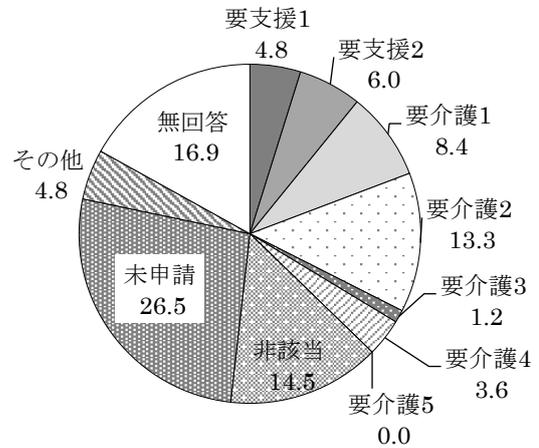


図 11:要介護度 (n=83)

2. 利用状況

本調査における対象者の利用状況については以下の通りであった。

(1) 利用意向と到達目標

調査対象者の利用意向は、「就労・就学への支援」が 32.5%と最も多く、次いで「身体機能の維持・向上」が 15.7%、「家庭復帰・地域生活移行への支援」が 13.3%となっていた。

また到達目標では、「身体機能の維持・向上」が 26.5%と最も多く、次いで「ADL・IADL の向上」が 24.1%、「移動方法の獲得・範囲の拡大」が 13.3%となっていた。(図 12)

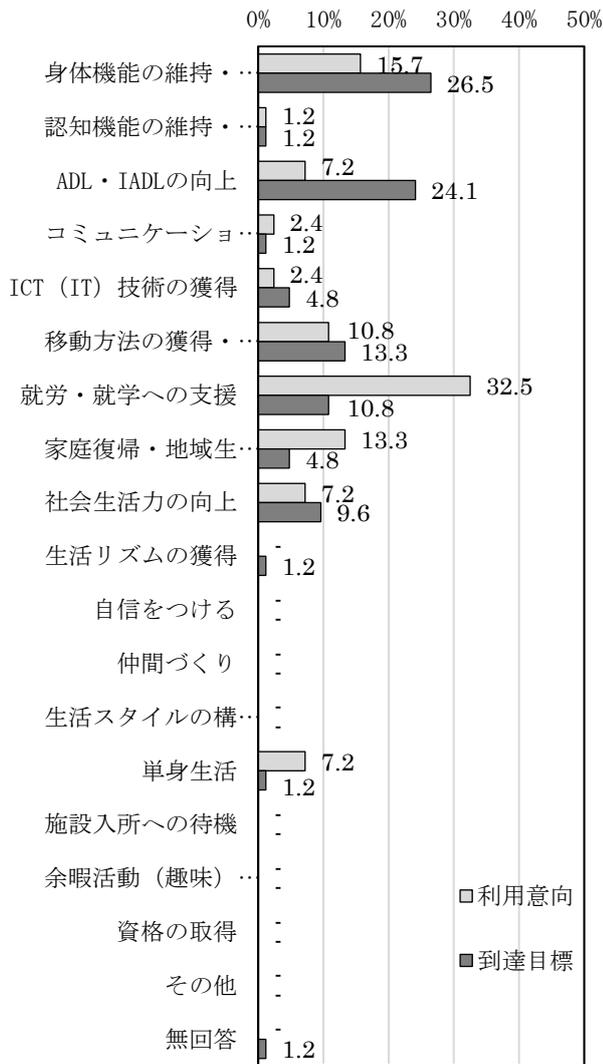


図 12: 利用意向と到達目標 (n=83)

(2) 利用日数

利用日数は「360～480 日未満」が 31.3%と最も多く、全体の 3 割を占めていた。平均日数は 355.8 日であった。(図 13)

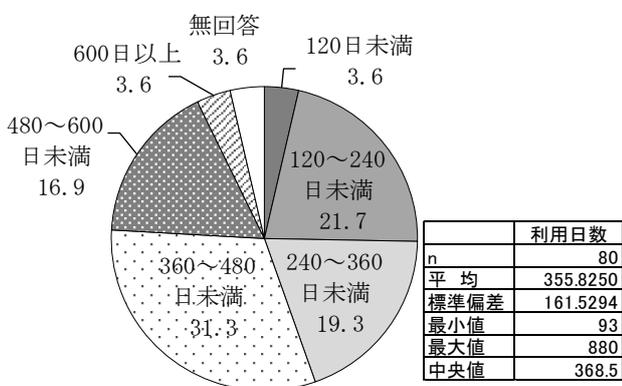


図 13: 利用日数 (n=83)

(3) 利用形態

利用形態では、開始時は「施設入所支援」が 75.9%であるのに対し、終了時では 59.0%と低下し、一方で「通所支援」は開始時 14.5%であったものが終了時には 32.5%と増加していた。(図 14)

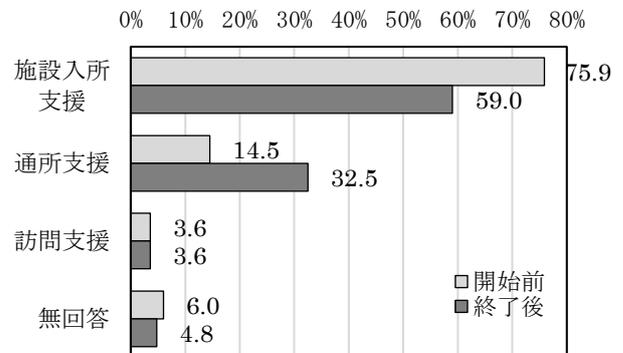


図 14: 利用形態 (n=83)

(4) 生活拠点

生活拠点は、開始時は「家族同居」が 45.8%であったものが、終了時には 60.2%と増加した。(図 15)

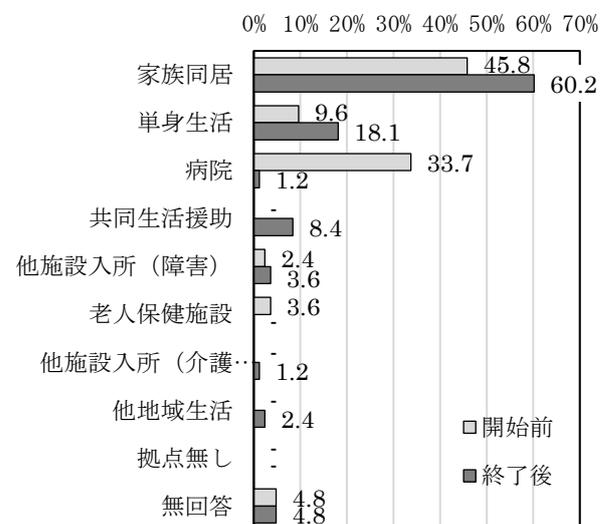


図 15: 生活拠点 (n=83)

(5) 家族背景

家族背景では、「単身」が訓練の開始前は 19.3%であったものが、終了時には 27.7%と増加しており、また「配偶者 (子供) と同居」は開始前 43.4%であったものが終了時 34.9%と減少、「両親 (兄弟)

と同居」も開始前 24.1%から終了時 21.7%へと減少していた。(図 16)

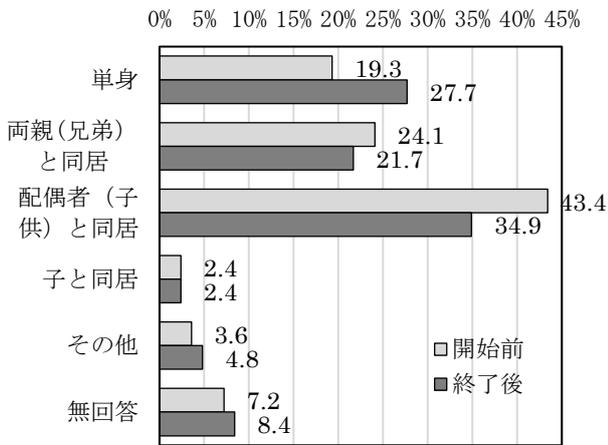


図 16: 家族背景(n=83)

3. 利用結果

本調査における対象者の利用結果について、以下の通りまとめた。

(1) 支援の到達度

支援の到達度では「目標が達成できた」が 28.9%であり、「75%以上目標を達成できた」が 43.4%となっていた。これらを合わせると全体の 7 割となっている。(図 17)

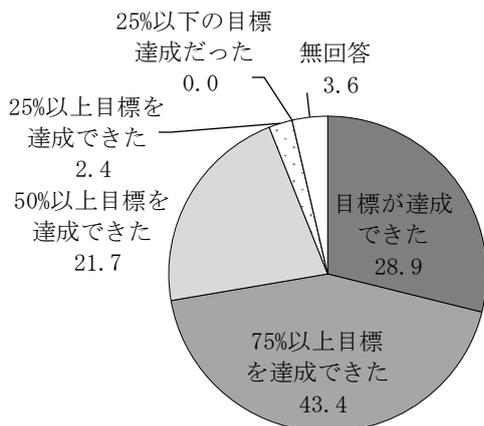


図 17: 支援の到達度(n=83)

(2) 社会参加の状況

社会参加の状況を見ると、訓練開始前は「活動なし」が 25.3%と最も多く、次いで「機能訓練」が 14.5%、「計画相談」が 13.3%となっていたが、

訓練終了後になると「計画相談」26.5%に続いて、「就労移行」が 18.1%、また「就労継続支援 B 型」も 13.3%となっていた。(図 18)

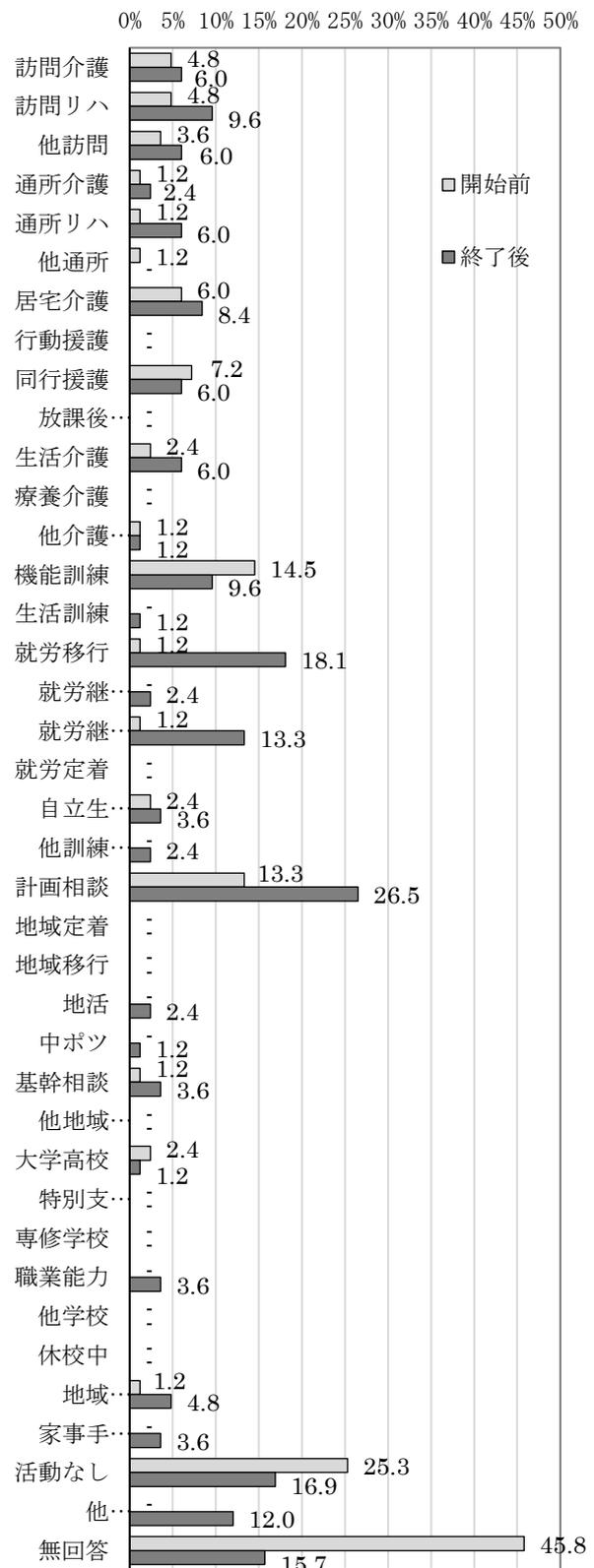


図 18: 社会参加の状況(n=83)

(3) 就労状況

就労状況では、訓練開始前は「休職中」が38.6%、「無職」が36.1%となっており、これに「正規職員」が28.9%と続いていたところ、訓練終了時には「無職」が54.2%と半数以上となり、「休職中」が15.7%、「正規職員」も22.9%と低下していた。(図19)

なお、この就労状況における「訓練開始前」とは受傷・発症前の状況を指しており、実際の利用前との比較では、全ての利用者が休職又は無職の状態であったことから、利用終了後に21.7%の人が復職又は復職した。

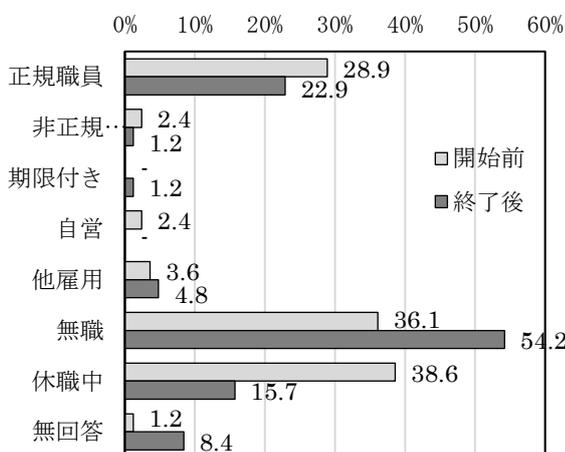


図19:就労状況(n=83)

(4) 収入状況

収入状況について、訓練開始前後での年金などの収入状況をみると、「障害厚生年金」は訓練開始前の7.2%から訓練終了後には32.5%に上昇しており、「障害基礎年金」も訓練開始前の10.8%から訓練終了後には27.7%に上昇していた。(図20)

また訓練開始前後での他の収入状況では、訓練開始前には「傷病手当(雇用)」が25.3%、「家族収入」が22.9%、「傷病手当金(健康)」が21.7%となっていた。訓練終了後は「家族収入」は変化なく、「傷病手当(雇用)」は8.4%に、「傷病手当金(健康)」は12.0%にそれぞれ減少していた。その一方で、「労働収入」は訓練開始前6.0%から訓練

終了後12.0%へと上昇していた。(図21)

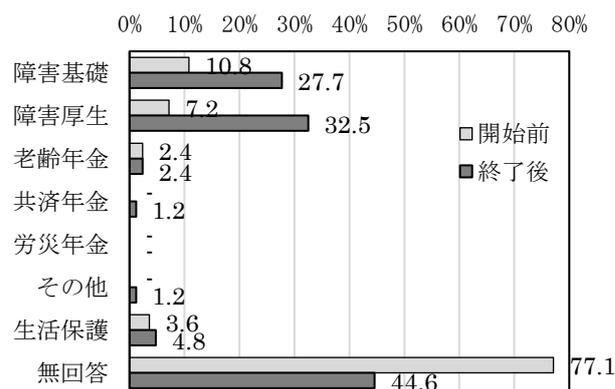


図20:年金など収入状況(n=83)

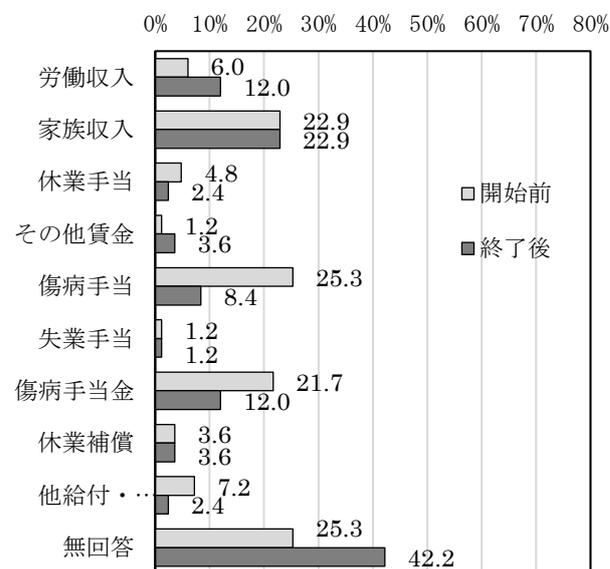


図21:他の収入状況(n=83)

4. 評価指標調査結果

(1) 偏差値を用いた各指標の項目ごとの変化

本調査では、採点方法や得点の分布傾向の異なる複数の評価指標を比較するために、以下の数式にて偏差値を求め、それを基に分析した。

$$\frac{(\text{終了時平均値}) - \text{平均点}(\text{開始時平均値}) \times 10}{\text{標準偏差}(\text{開始時標準偏差})}$$

※0を標準値とする(50とない)

※WHO/QOLの一部の項目、WHO/DASの全ての項目については、減点による評点であるため、分子を「開始時平均値-終了時平均値×10」とした。

また、標準偏差の縮小が、利用者が同じ環境である自立訓練を利用することによる変化であることも捉えられることから、標準偏差縮小率を参考値として分析した。偏差値がプラスとなっている場合に、標準偏差が縮小している場合（向上方向に集中している場合）は、より効果が認められたと捉えた。

※縮小率とは、開始時に対する終了時の数値の縮小した割合と指す。

1) 機能的自立度評価(FIM)

全体では、偏差値で 5.1 ポイントの向上があつ

た。また、ADLに、認知面ともに向上が見られ、やや認知面での向上が大きかった。具体的項目では「歩行・車いす」の向上が最も大きく、次いで「問題解決」「清拭」「社会的交流」の順に向上・改善があった。

また、標準偏差縮小率を見ると、いずれの項目においても向上方向への集中が見られ、特に「整容」「歩行・車椅子」の集中が大きかった。(図 22)

実際の利得値では、合計値で 8.3 ポイントの向上が認められ、ADL合計が 6.2 ポイント、認知合計が 2.1 ポイントであった。(図 23)

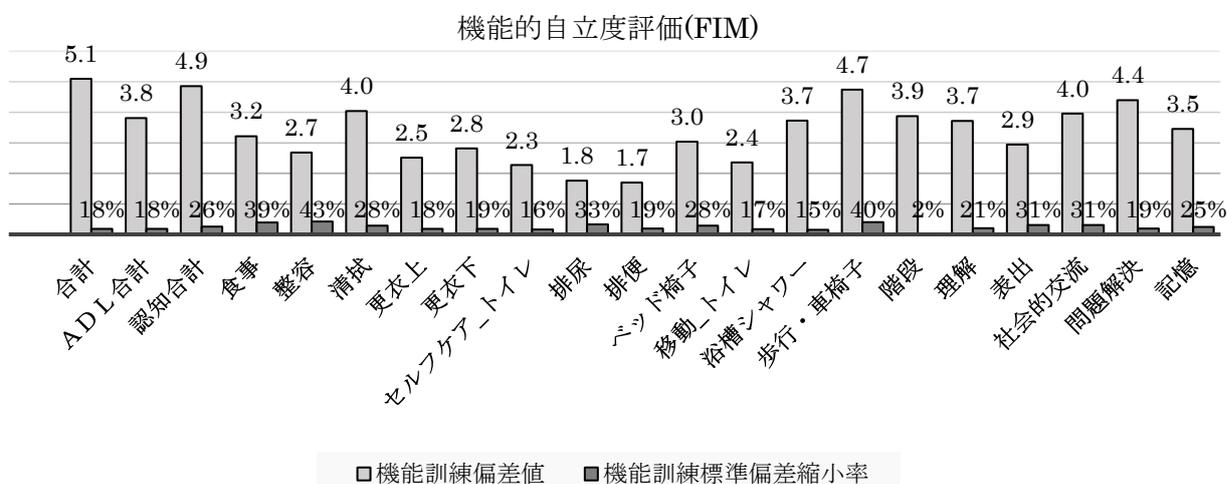


図 22:FIM 偏差値・標準偏差縮小率

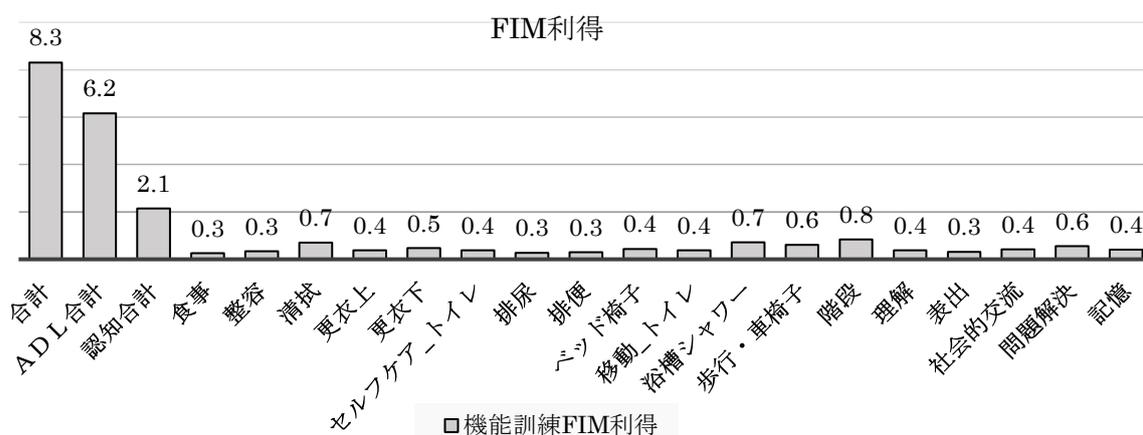


図 23:FIM 利得

2) 手段的日常生活活動(IADL)尺度

全体では7.8ポイントの向上があった。具体的項目では「移送の形式」の向上が最も大きく7.6ポイント、次いで「買い物」が6.2ポイント、「服薬管理」が6.2ポイントであった。IADL尺度では、

「食事の準備」「家事」「洗濯」が女性のみを対象とした項目では、「食事の準備」が最も向上・改善が認められた。標準偏差縮小率では、「食事の準備」の幅の広がりが大きかった。(図24)

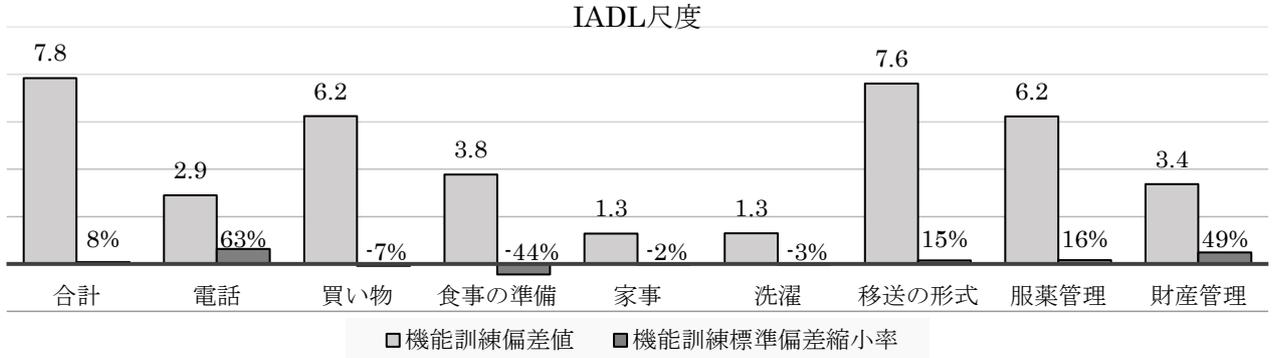


図24:IADL尺度偏差値・標準偏差縮小率

3) Recovery Assessment Scale (RAS)

全体では8.8ポイントの向上があった。具体的項目では「自己実現力」の向上が最も大きく8.0ポイント、次いで「課題解決力」が7.8ポイント、「援助依頼(必要性の判断)」が7.7ポイント、「ハンディキャップ意識の低下」が7.6ポイントであった。

標準偏差縮小率では、いずれの項目においても向上方向への集中が見られた。(図25)

なお、各項目の表現については表1の通り簡略化した。

原文	簡略化後の表現
1 生きがいがある	生きがい
2 不安があっても、自分のしたい生き方ができる	自己実現力
3 自分の人生で起ることは、自分で何とかできる	課題解決力
4 自分のことが好きだ	自己満足度
5 人々が自分のことをよく知ったら、好ましく思ってくれるだろう	人間関係への自信
6 自分がどんな人間になりたいかという考えがある	将来展望
7 自分の将来に希望を持っている	自己肯定感
8 いつも好奇心がある	好奇心
9 ストレスに対処することができる	ストレス対処
10 成功したいという強い願望がある	成功願望
11 元気がいたり、元気になったりするための、自分なりの計画がある	生活設計
12 到達したい人生の目標がある	人生目標
13 現在の自分の目標を達成できると信じている	目標達成への自信
14 手助けを求めた方がよいのがどのような時か、知っている	援助依頼(必要性の判断)
15 手助けを求めてもかまわないと思う	援助依頼(積極性)
16 必要な時には、手助けを求める	援助依頼(実行力)
たとえ自分で自分のことを気にかけていなくても、他の人は私を気にかけてくれる	共生感
17 何か良いことが、いつかは起きるだろう	楽観性
18 頼りにできる人がいる	支援者の存在
19 たとえ自分のことを信じていない時でも、他の人が信じてくれる	他者との信頼関係
21 さまざまな友達を持つことは、大切なことだ	友人意識
22 精神の病気に対処することは、いまでは私の暮らして最も重要なことではない	障害の重要度の低下
23 症状が私の生活の妨げとなることは、だんだん少なくなっている	ハンディキャップ意識の低下
24 私の症状が問題になる時間の長さは、毎回短くなっているようだ	障害の負担感の低下

表1:RAS原文の簡略化

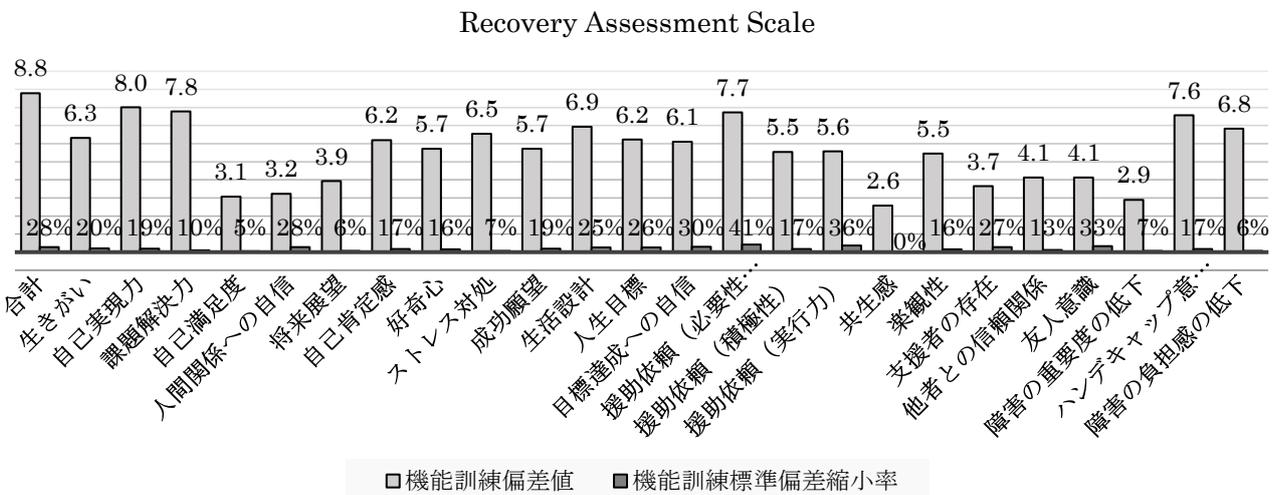


図25:RAS偏差値・標準偏差縮小率

4) WHOQOL 26

全体では 10.3 ポイントの向上があった。具体的項目では「近隣外出の機会」の向上が最も大きく 10.7 ポイント、次いで「情報を得る機会」が 10.1 ポイント、「領域IV環境」が 9.7 ポイント、「生活の質の評価」が 9.5 ポイントであった。

標準偏差縮小率では、多くは僅かではあるが向上方向への集中が認められた。(図 26)

なお、各項目の表現については表 2 の通り簡略化した。

原文	原文カテゴリ	簡略化後の表現
1 自分生活の質をどのように評価しますか	全体	生活の質の評価
2 自分の健康状態に満足していますか	全体	健康状態の満足度
3 身体の不満や不快感のせいで、しなければならないことがどのくらい制限されていますか	身体的領域	障害による活動制限の緩和
4 毎日の生活の中で医療(医療)がどのくらい必要ですか	身体的領域	医療の必要度の軽減
5 毎日の生活をどのくらい楽しく過ごしていますか	心理的領域	生活の充実度
6 毎日の生活をどのくらい意味あるものと感じていますか	心理的領域	生活の意義の実感
7 物事にどのくらい集中することができますか	心理的領域	集中力
8 毎日の生活はどのくらい安全ですか	環境	生活の安全度
9 あなたの生活環境はどのくらい健康的ですか	環境	健康的な生活環境
10 毎日の活動を送るための活力がありますか	身体的領域	生活する活力
11 自分の容姿(外見)を気に入ることができますか	心理的領域	外見(容姿)の受容
12 必要なものが揃うだけのお金を持っていますか	環境	経済的余裕
13 毎日の生活に必要な情報をどのくらい得ることができますか	環境	情報を得る機会
14 余暇を楽しむ機会はどのくらいありますか	環境	余暇機会
15 家の周囲を歩むことがよくありますか	身体的領域	近隣外出の機会
16 睡眠は満足のものですか	身体的領域	睡眠の満足度
17 毎日の活動をやりにける能力に満足していますか	身体的領域	活動力の満足度
18 自分の仕事をやる能力に満足していますか	身体的領域	労働力の満足度
19 自分自身に満足していますか	心理的領域	自己満足度
20 人間関係に満足していますか	心理的領域	人間関係満足度
21 性生活に満足していますか	社会的領域	性生活への満足度
22 友人からの支えに満足していますか	社会的領域	友人への満足度
23 家と家まわりの環境に満足していますか	環境	自宅環境満足度
24 医療サービスやサービスの利用しやすさに満足していますか	環境	医療・福祉満足度
25 周辺との交通の便に満足していますか	環境	移動環境満足度
26 気分がすくなくったり、絶望、不安、落ち込みといったいやな気分をどのくらいひんぱんに感じますか	心理的領域	心理的負担の軽減

表 2: WHOQOL 原文の簡略化

WHO QOL 26

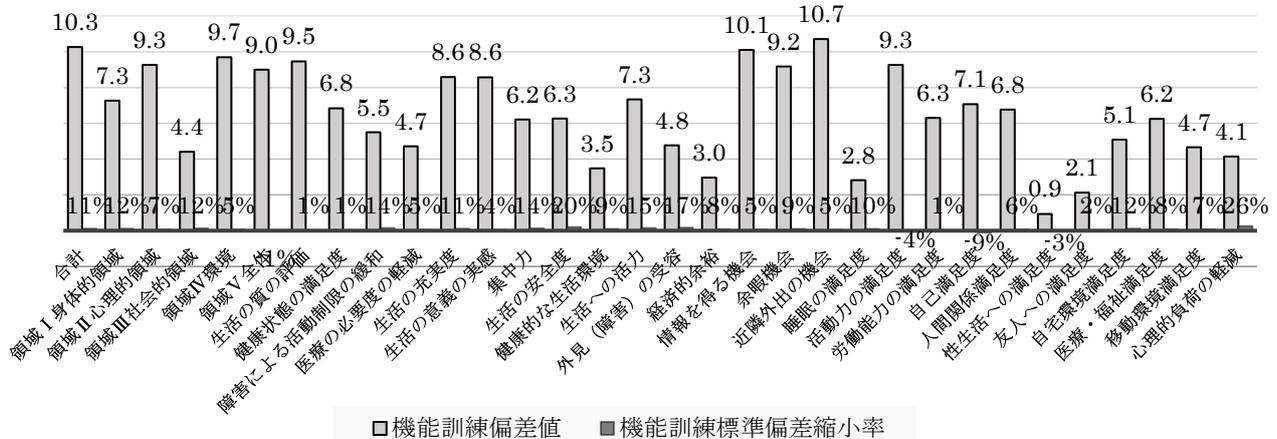


図 26: WHO/QOL 偏差値・標準偏差縮小率

5) WHODAS 2.0

単純合計では 7.4 ポイント、複雑合計 1 では 8.0 ポイント、複雑合計 2 では 7.7 ポイントの向上があった。具体的項目では「屋外近隣移動」の向上が最も大きく 7.3 ポイント、次いで「家事活動(自立度)」 「可動性小計」 6.4 ポイント、「家庭での役割」 「可動性小計」 が 5.8 ポイントであった。

標準偏差縮小率では、多くは向上方向に集中していた。(図 27)

なお、各項目の表現については表 3 の通り簡略化した。

原文	原文カテゴリ	簡略化後の表現
1.1 何かをするとき、10分間集中する	認知	集中力
1.2 大切なことを覚えている	認知	記憶力
1.3 日常生活の問題を分析して解決法を見つける	認知	理解解決力
1.4 新しい課題、例えば初めての場所へ行く方法を学ぶ	認知	学習能力
1.5 與人が話していることを聞き理解する	認知	聴取能力
1.6 自ら会話を始めたり続ける	認知	会話能力
2.1 長時間(30分以上)立っている	可動性	立位能力
2.2 歩いているところから立ち上がる	可動性	立ち上がり
2.3 車の中で立ち回る	可動性	車内移動能力
2.4 家の外に出る	可動性	屋外近距離移動
2.5 1kmほどの長距離を歩く	可動性	屋外遠距離移動
3.1 全身を洗う	セルフケア	活動力(身体)
3.2 髪を洗う	セルフケア	活動力(髪)
3.3 食事を準備する	セルフケア	活動力(食準備)
3.4 数日間一人で過ごす	セルフケア	身辺自立度
4.1 見知らぬ人に応対する	他者交流	コミュニケーション力
4.2 友人関係を築く	他者交流	交友関係維持
4.3 新しい人と交友をする	他者交流	身辺外との交友
4.4 新しい友人を作る	他者交流	新しい友人を作る
4.5 性行為をする	他者交流	性行為
5.1 家庭で要求される作業を行う	日常生活	家庭での役割
5.2 最も大切な家事をこなす	日常生活	家事活動(重要)
5.3 なすべそ全ての家事労働を片付ける	日常生活	家事活動(自立度)
5.4 必要に応じてできるだけ早く家事労働を終わらせる	日常生活	家事活動(効率性)
5.01 健康状態により、過去30日間に何日くらい、家事労働を減らしたり、または休んだりしましたか(日数)	日常生活	活動制限(家事)の改善
5.9 毎日の仕事を学校へ行く	日常生活	仕事/学校(参加)
5.8 最も大切な仕事/学校の課題をうまくやる	日常生活	仕事/課題(質)
5.7 なすべそ全ての仕事を済ます	日常生活	仕事(自立度)
5.6 必要に応じてできるだけ早く仕事を済ます	日常生活	仕事(効率性)
5.5 健康状態のために、仕事の量やペースを下げて働かなくてはなりませんでしたが	日常生活	仕事の量・質の向上
5.10 健康状態の結果として、収入が少なくなったことがありますか	日常生活	収入の改善
5.02 健康状態により、過去30日間に何日くらい、平日以上仕事を休みましたか(日数)	日常生活	仕事の従事日数の向上
6.1 誰もが出来るやり方で地域社会の活動に加わることができましたか	社会参加	地域活動参加
6.2 近所でのことや話のため、どれほど問題がありましたか	社会参加	理由のない社会参加
6.3 他人の態度や行為のため、自分らしさを持つて生きることが、どれほど問題がありましたか	社会参加	環境因子(人的疎外因子)の改善
6.4 健康状態やその改善のために、どれくらい時間をかける必要がありましたか	社会参加	健康改善
6.5 健康状態のために、どれくらい精神的に影響を受けましたか	社会参加	精神的影響の改善
6.6 あなたの健康状態は、あなたや家族に、どのくらい経済的損失をもたらしましたか	社会参加	経済状態の改善
6.7 あなたの健康問題により、家族はどれくらい大きな問題を抱えましたか	社会参加	家族の負担軽減
6.8 ランクしたり、楽しんだりするために、自分で何かを行うのに、どれくらい問題がありましたか	社会参加	余暇生活
H1 全体として、過去30日間に何日くらい、こうした難しさがありましたか(日数)		全体的な困難の軽減
H2 健康状態のために、過去30日間に何日くらい、通常の活動や仕事ができなくなりましたか(日数)		活動・労働不能状態の改善
H3 全くできなかった日を除いて、健康状態により過去30日間に何日くらい、通常の活動や仕事を、途中でめどたりまたは減らしたりしましたか(日数)		活動・労働不調状態の改善

表 3: WHODAS 原文の簡略化

WHO DAS 2.0

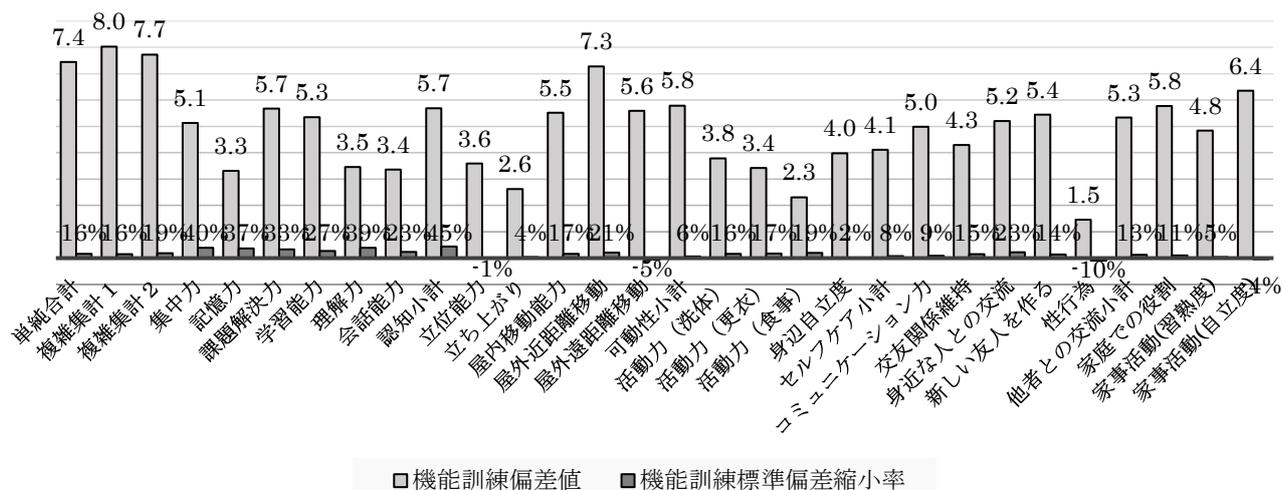


図 27:WHO/DAS 偏差値・標準偏差縮小率

6) Life Space Assessment (LSA)

8.8 ポイントの向上があり、移動、行動範囲の広がりが認められた。

標準偏差縮小率では、僅かに幅の広がりがみられた。(図 28)

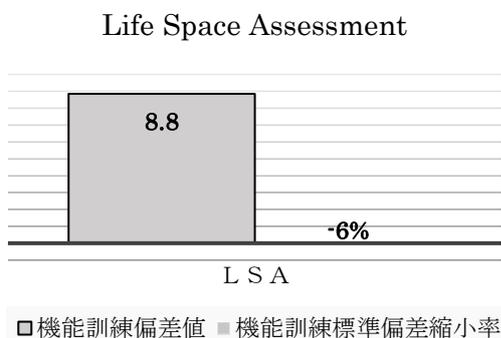


図 28:LSA 偏差値・標準偏差縮小率

7) 実用的歩行能力分類

12.1 ポイントの向上があり、歩行能力の向上が認められた。

標準偏差縮小率では、僅かに幅の広がりが見られた。(図 29)

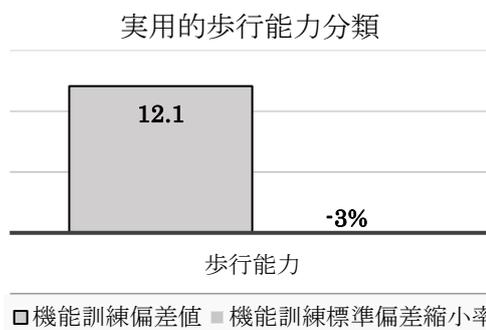


図 29:実用的歩行能力偏差値・標準偏差縮小率

(2) 評価指標ごとの変化の比較

評価指標ごとの変化の比較では、実用的歩行能力分類が 12.1 ポイントと最も向上が認められ、順に WHO/QOL が 10.3 ポイント、LSA、RAS がともに 8.8 ポイント、IADL 尺度が 7.8 ポイント、WHO/DAS が 7.4 ポイントとなり、評価指標中 FIM が最も変化が少なかったものの、5.1 ポイントの向上があった。

また、「WHO/QOL 領域Ⅳ環境」が 9.7 ポイント、「WHO/QOL 領域Ⅱ心理的領域」が 9.3 ポイントと WHO/QOL の中でも大きな変化が認められた。(図 30) 標準偏差縮小率では、RAS が最も向上方向に集中し、次いで FIM に集中が大きかった。僅かではあるが、LSA と実用的歩行能力分類では広がりが見られた。(図 31)

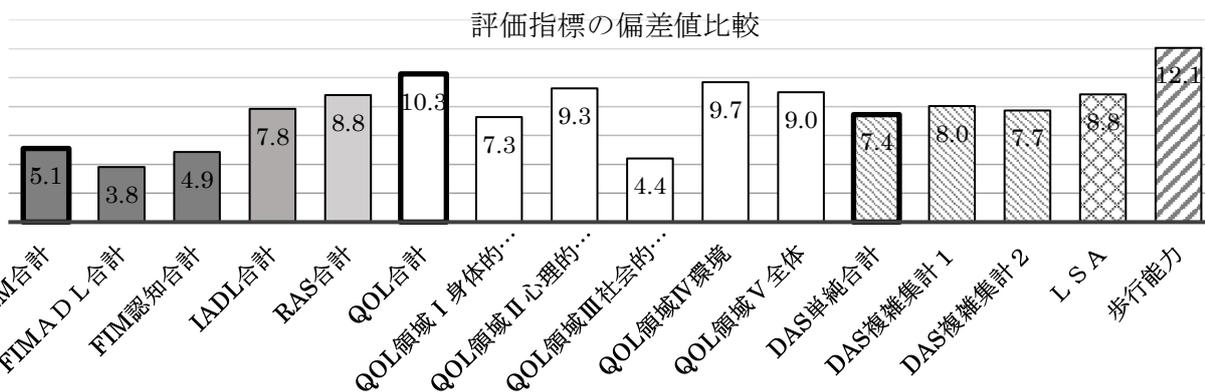


図 30: 評価指標偏差値比較

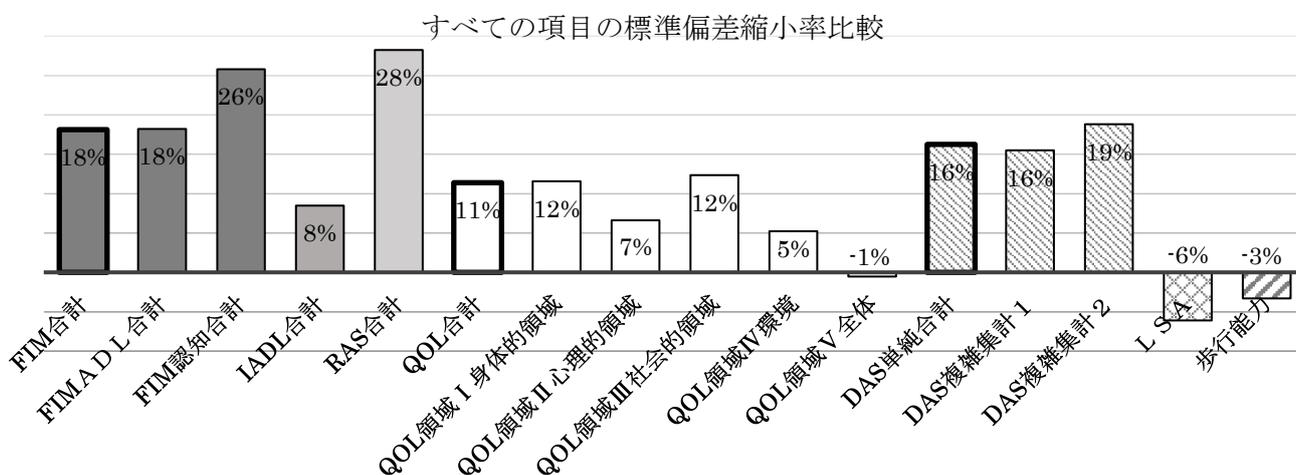


図 31: 項目標準偏差縮小率比較

これらのことから、自立訓練（機能訓練）の利用開始時と終了時の比較では、調査対象としたいずれの評価指標によっても向上が確認できた。

（身体）「環境因子」が 4.9 ポイント、「認知機能」が 4.5 ポイントと、あまりポイントの差がない状態であった。（図 32）

(3) ICF に基づいたカテゴリーごとの変化の比較

評価指標の各項目について ICF の概念に基づきカテゴライズを試み（表 4）、それを基にカテゴリー間で変化の程度を比較した。

その結果、「健康状態（精神）」が 5.8 ポイント、「参加（地域生活）」が 5.7 ポイントであり、変化が最も顕著であった。次いで、順に「身体機能」5.2 ポイント、「活動（IADL）」が 5.1 ポイント、「参加（就労・就学）」が 5.0 ポイント、「健康状態

カテゴリー別 偏差値平均比較

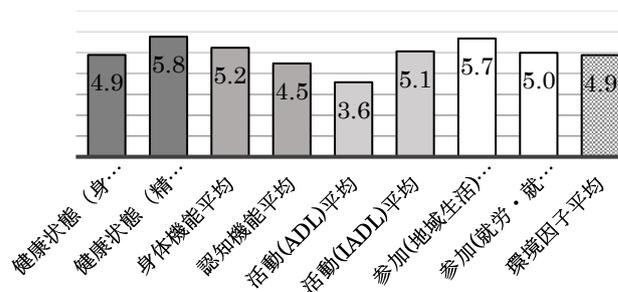


図 32: カテゴリー別偏差値平均比較

ICF	健康状態		心身機能・身体構造		活動		参加		環境因子	個人因子
	身体面	精神面	身体面	認知面	ADL	IADL	地域生活	就労・就学		
FIM				理解 表出 社会的交流 問題解決 記憶	食事 整容 清拭 更衣上 更衣下 セルフケア_トイレ 排尿 排便 ベッド椅子 移動_トイレ 浴槽シャワー 歩行・車椅子 階段					
IADL尺度						電話 買い物 食事の準備 家事 洗濯 移送の形式 服薬管理 財産				
RAS		生きがい 自己満足度 将来展望 自己肯定感 好奇心 ストレス対処 成功願望 目標達成への自信 楽観性 障害の重要度の低下 ハンデキャップ意識の低下 障害の負担感の低下 共生感					自己実現力 課題解決力 人間関係への自信 生活設計 人生目標 援助依頼(必要性の判断) 援助依頼(積極性) 援助依頼(実行力) 支援者の存在 他者との信頼関係 友人意識			
WHO/QOL	医療の必要度 睡眠の満足度 健康状態の満足度	生活の充実度 生活の意義 外見(障害)の受容 自己満足度 心理的負担の軽減	活動制限の緩和 活動力の満足度	集中力 生活する活力			情報を得る機会 余暇機会 近隣外出の機会 人間関係満足度 性生活への満足度 友人への満足度	労働能力の満足度	生活の安全度 健康的な生活環境 自宅環境満足度 移動環境満足度 経済的余裕 医療・福祉満足度	
WHO/DAS	健康改善	心理的影響の改善	立位能力 立ち上がり	集中力 記憶力 課題解決力 学習能力 理解力 会話能力	屋内移動能力 屋外近距離移動 屋外遠距離移動 活動力(洗体) 活動力(更衣) 活動力(食事) コミュニケーションカ	身辺自立度 家事活動(習熟度) 家事活動(自立度) 家事活動(効率性)	交友関係維持 身近な人との交流 新しい友人を作る 性行為 家庭の役割 地域活動参加 余暇生活 活動・労働不能状態の改善	仕事/学校(参加) 仕事/課題(習熟) 仕事(自立度) 仕事(効率性) 仕事の量・質の向上 収入の改善 仕事の従事日数の向上 活動・労働不能状態の改善	疎外因子の改善 人的疎外因子の改善 家族の負担軽減 全体的な困難の軽減 経済状態の改善	
LSA							外出 活動・労働不能状態の改善			
実用的歩行能力						歩行(移動)				

表 4: ICF を基にした評価項目のカテゴリズ

これらのことから、自立訓練（機能訓練）の利用開始時と終了時では、いずれのカテゴリーでも変化を確認することができ、特に、精神面や地域社会への参加に向けて良い変化が起きていることが確認できた。

更に、各カテゴリーの中での項目の変化を見ると、健康状態では「生活の充実度」「生活の意義の実感」が 8.6 ポイントと最も高く、精神面での変化が大きい。心身機能・身体構造では、身体面の「活動力の満足度」が 9.3 ポイントと最も高く、

次いで「生活する活力」が7.3ポイントであった。このことから、全般的な活動性の高まりとともに、気持ちの面でも充実している状況が窺えた。

また、活動や参加を見ると、ADLでは「屋外近距離移動」が7.3ポイント、続いて「屋外遠距離」が5.6ポイント、「屋内移動能力」が5.5ポイントとなっており、IADLでは「歩行（移動）能力」が12.1ポイント、「移送の形式」が7.6ポイントとなった。地域生活でも「近隣外出の機会」が10.7ポイント、「外出」が8.8ポイントと、外出、移動能力、行動範囲の拡大といったところが、最も大きな具体的な変化として現れていることが分かった。

更に参加をみると、「情報を得る機会」が10.1ポイント、「余暇機会」が9.2ポイントと最も高く、「自己実現力」が8.0ポイント、「課題解決力」が7.9ポイント、「援助依頼（必要性の判断）」が7.73ポイントと高ポイントとなっている。また、家庭での役割に関することや、人との交流に関する事

でもポイントが高い。これらのことから、自立訓練（機能訓練）の利用後に社会生活力が向上していることが分かった。

また、就労・就学においては、「労働能力の満足度」が6.3ポイントと、就労能力の向上・改善に関する項目や、就労・就学への参加に関する項目でポイントの向上が見られることから、就労・就学についても、自立訓練（機能訓練）の利用後にプラスの変化があることが分かった。

更に、環境要因についてもプラスの変化が見られた。

なお、当然ながら「健康状態（精神）」の評価項目のすべてが主観評価であり、「参加（地域生活）」、「参加（就労・就学）」の殆どが、主観評価又は「主観/客観評価」（本人に客観的事実を問うもの）であった。また、「活動（ADL）」で最も変化の大きい指標は「主観/客観評価」であった。（図33）

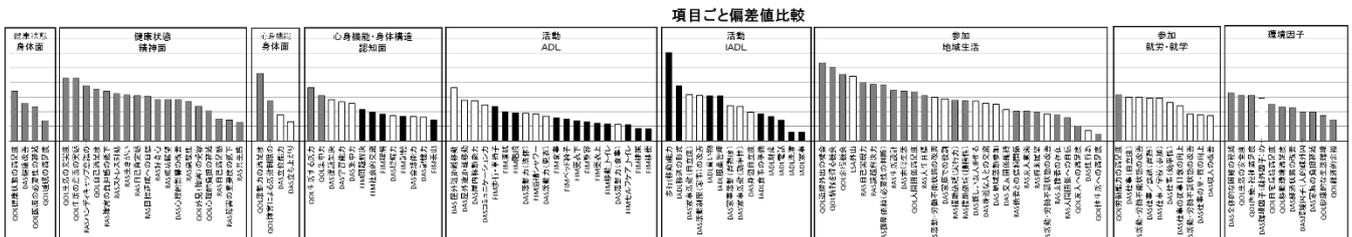
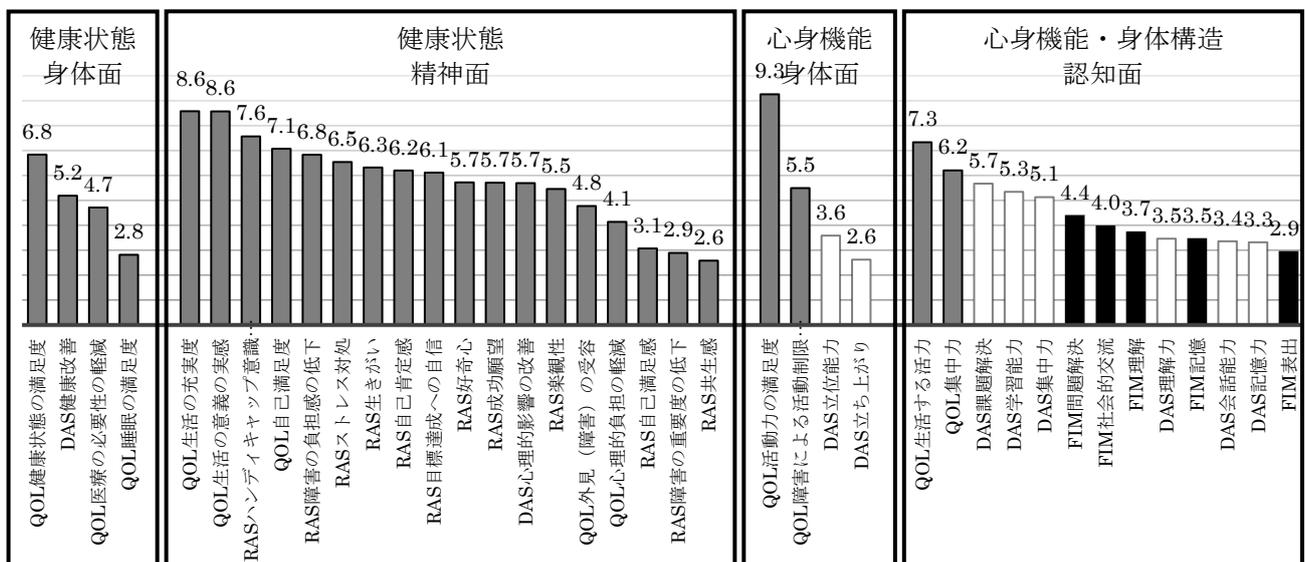
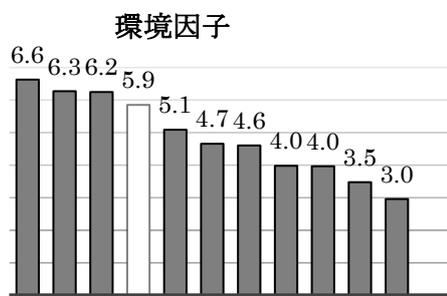
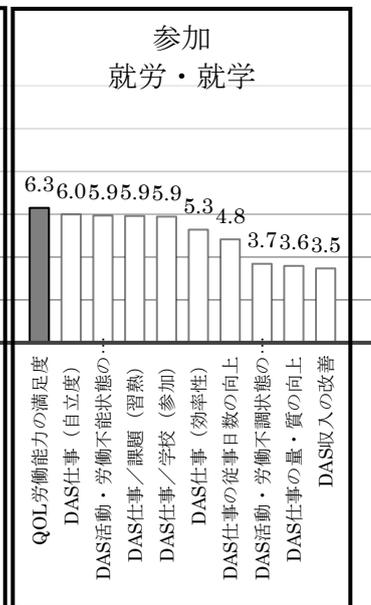
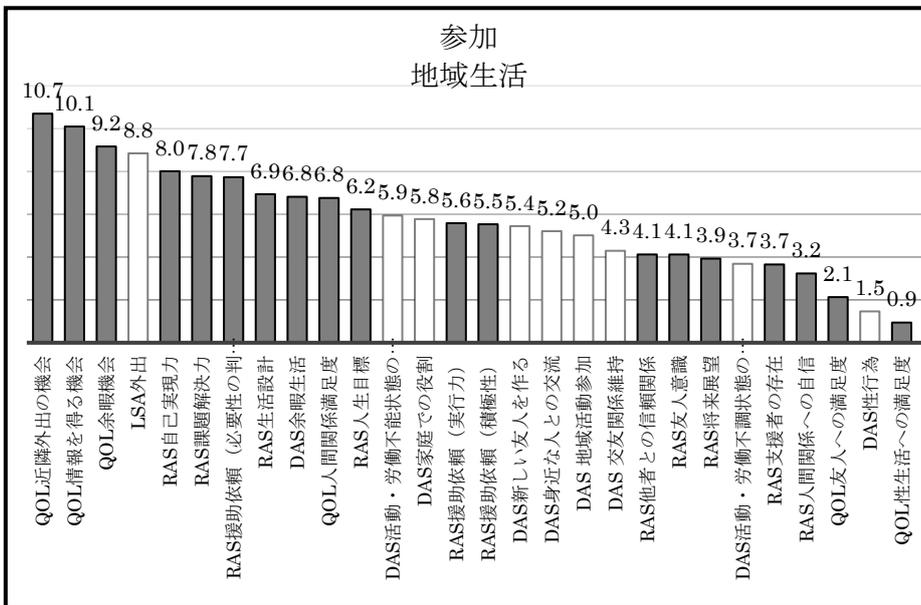
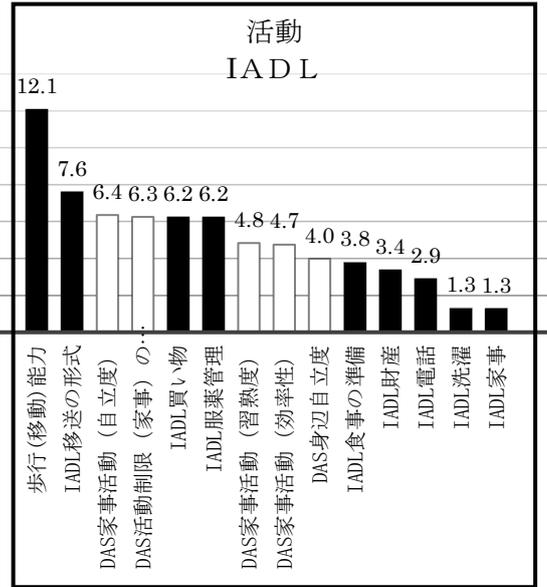
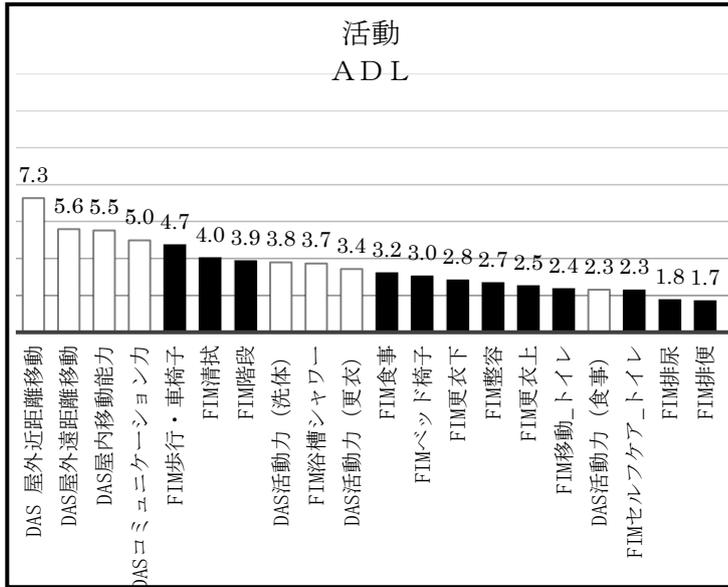


図33:項目ごと偏差値比較





棒グラフ: 黒…客観評価、グレー…主観評価、白…客観/主観評価

5. 結論

以上のことから、今回の調査で、自立訓練(機能訓練)の利用後に、利用者の身体面、精神面、日常生活や社会生活面で向上・改善されていることが明らかとなった。

特に、活動力や活力、ADL や IADL、外出や移動能力、余暇活動、対人関係づくり、支援の依頼、生活設計等の社会生活力、就労面においてプラスの

変化が認められ、精神面にもプラスの変化が認められたことから、ICFで言う「活動」や「参加」の変化、「活動力」「認知機能」などの「心身機能・身体構造」の変化が、生活の充実感や、生活することの意義の実感等、精神面での「健康状態」の変化をもたらしていることが推測される。

そうしたことから、様々なプログラム・支援を利用者に提供する自立訓練（機能訓練）の利用効果の高さを推測することができる。

一方で、今回調査した評価指標には、FIM、IADL尺度、実用的歩行能力分類といった客観的評価指標と、RASやWHO/QOL、WHO/DAS等の被験者の回答による評価指標があったが、FIM等では、客観性はあるものの変化の大きかった「参加（地域生活）」、「参加（就労・就学）」を含んでおらず、それらを包含しているWHO/DAS等では、客観的評価とはなりにくい部分があった。

また、RASに見られるような「自分のしたい生き方ができる」等の項目については、内面的変化そのものは客観的事実であり評価の対象となりうるものの、どのような訓練・支援が結果をもたらしたかという実施した訓練や支援と成果の因果関係を説明することは難しい。

帰結状況等から推論しても、訓練・支援と利用者の変化との関連性が強いことは予想されるものの、これらの評価結果をそのまま自立訓練（機能訓練）の利用効果であるとするには難しく、自立訓練（機能訓練）の評価指標の確立という点からは、更なる研究が必要である。

5. 考察（令和3年度の研究に向けて）

- ・今回の試験調査が、被験者の回想や過去の記録に基づいた調査であったため、利用時と終了時の正確な状況を捉えたものとは言えないものの、調査した全ての評価指標から、自立訓練（機能訓練）の利用前後のプラスの変化を捉えることができたことから、自立訓練（機能訓練）の利用に相当の効果があることが推論できた。
- ・効果は、利用者の身体面、認知面、日常生活や社会参加、就労といった社会生活全般に及んでおり、それらの変化が、生活の質や健康状態に変化をもたらしていることが推測できた。
- ・また、身体面、認知面の変化についても、日常生活や社会生活上の変化として現れることから、それらの評価指標に効果が反映できると考える。
- ・そのことから、自立訓練（機能訓練）の評価指標においては、ADL、IADL、社会生活力、就労を測る評価指標が必要であると考えられる。
- ・ADL、IADLの評価は既存の評価指標が活用できると思われる。
- ・就労については、目的達成が明確なため、利用終了後の進路（帰結状況）による評価も可能と思われる。
- ・社会生活力の評価指標では、FIM、IADL尺度、実用的歩行能力分類等では評価できず、RAS、WHO/QOL、WHO/DASでも訓練・支援の成果としては直接的に評価できないため、それらの単純活用又は組み合わせのみでは難しい。
- ・本調査の評価指標を研究する中で、社会生活力を客観的に測ることのできる独自の評価指標を考案することが望ましい。

資料：機能訓練 項目別統計データ

■ FIM

○機能訓練

合計

変数	開始時	終了時
n	83	83
平均	105.157	113.458
不偏分散	265.304	177.812
標準偏差	16.288	13.335
最小値	48	58
最大値	125	126

利得
8.3

1 一計算上の数値

仮想偏差値 5.10
標準偏差縮小率 18.1%

ADL合計

	開始時	終了時
n	83	83
平均	75.578	81.735
不偏分散	260.466	174.246
標準偏差	16.139	13.2
最小値	19	27
最大値	91	91

6.2

1 一計算上の数値

仮想偏差値 3.81
標準偏差縮小率 18.2%

認知合計

	開始時	終了時
n	83	83
平均	29.578	31.723
不偏分散	19.466	10.715
標準偏差	4.412	3.273
最小値	15	22
最大値	35	35

2.1

1 一計算上の数値

仮想偏差値 4.86
標準偏差縮小率 25.8%

食事

	開始時	終了時
n	83	83
平均	6.518	6.771
不偏分散	0.619	0.227
標準偏差	0.786	0.477
最小値	4	5
最大値	7	7

0.3

1 一計算上の数値

仮想偏差値 3.22
標準偏差縮小率 39.3%

整容

	開始時	終了時
n	83	83
平均	6.313	6.651
不偏分散	1.584	0.523
標準偏差	1.258	0.723
最小値	1	4
最大値	7	7

0.3

1 一計算上の数値

仮想偏差値 2.69
標準偏差縮小率 42.5%

清拭

	開始時	終了時
n	83	83
平均	5.627	6.337
不偏分散	3.091	1.592
標準偏差	1.758	1.262
最小値	1	1
最大値	7	7

0.7

1 一計算上の数値

仮想偏差値 4.04
標準偏差縮小率 28.2%

更衣上

	開始時	終了時
n	83	83
平均	6.12	6.506
不偏分散	2.351	1.57
標準偏差	1.533	1.253
最小値	1	1
最大値	7	7

0.4

1 一計算上の数値

仮想偏差値 2.52
標準偏差縮小率 18.3%

更衣下

	開始時	終了時
n	83	83
平均	6.024	6.494
不偏分散	2.78	1.838
標準偏差	1.667	1.356
最小値	1	1
最大値	7	7

0.5

1 一計算上の数値

仮想偏差値 2.82
標準偏差縮小率 18.7%

セルフケア トイレ

	開始時	終了時
n	83	83
平均	5.952	6.337
不偏分散	2.876	2.007
標準偏差	1.696	1.417
最小値	1	1
最大値	7	7

0.4

1 一計算上の数値

仮想偏差値 2.27
標準偏差縮小率 16.5%

排尿

	開始時	終了時
n	83	83
平均	6.241	6.518
不偏分散	2.478	1.106
標準偏差	1.574	1.052
最小値	1	2
最大値	7	7

0.3

1 一計算上の数値

仮想偏差値 1.76
標準偏差縮小率 33.2%

排便

	開始時	終了時
n	83	83
平均	6.072	6.373
不偏分散	3.141	2.042
標準偏差	1.772	1.429
最小値	1	1
最大値	7	7

0.3

1 一計算上の数値

仮想偏差値 1.70
標準偏差縮小率 19.4%

ベッド椅子

	開始時	終了時
n	83	83
平均	6.024	6.458
不偏分散	2.048	1.056
標準偏差	1.431	1.028
最小値	1	1
最大値	7	7

0.4

1 一計算上の数値

仮想偏差値 3.03
標準偏差縮小率 28.2%

移動_トイレ

	開始時	終了時
n	83	83
平均	5.892	6.277
不偏分散	2.659	1.837
標準偏差	1.631	1.355
最小値	1	1
最大値	7	7

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 2.36
標準偏差縮小率 16.9%

浴槽シャワー

	開始時	終了時
n	83	83
平均	5.133	5.855
不偏分散	3.751	2.735
標準偏差	1.937	1.654
最小値	1	1
最大値	7	7

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 3.73
標準偏差縮小率 14.6%

歩行・車椅子

	開始時	終了時
n	83	83
平均	5.627	6.241
不偏分散	1.676	0.6
標準偏差	1.295	0.774
最小値	2	3
最大値	7	7

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 4.74
標準偏差縮小率 40.2%

階段

	開始時	終了時
n	81	82
平均	4.136	4.976
不偏分散	4.694	4.518
標準偏差	2.167	2.126
最小値	1	1
最大値	7	7

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 3.88
標準偏差縮小率 1.9%

理解

	開始時	終了時
n	83	83
平均	6.036	6.41
不偏分散	1.011	0.635
標準偏差	1.005	0.797
最小値	3	4
最大値	7	7

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 3.72
標準偏差縮小率 20.7%

表出

	開始時	終了時
n	83	83
平均	6.193	6.506
不偏分散	1.133	0.546
標準偏差	1.064	0.739
最小値	3	4
最大値	7	7

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 2.94
標準偏差縮小率 30.5%

社会的交流

	開始時	終了時
n	83	83
平均	6.012	6.434
不偏分散	1.134	0.541
標準偏差	1.065	0.736
最小値	3	5
最大値	7	7

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 3.96
標準偏差縮小率 30.9%

問題解決

	開始時	終了時
n	83	83
平均	5.434	5.988
不偏分散	1.59	1.036
標準偏差	1.261	1.018
最小値	2	3
最大値	7	7

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 4.39
標準偏差縮小率 19.3%

記憶

	開始時	終了時
n	82	83
平均	5.976	6.386
不偏分散	1.407	0.801
標準偏差	1.186	0.895
最小値	2	3
最大値	7	7

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 3.46
標準偏差縮小率 24.5%

	合計	ADL合計	認知合計	食事	整容	清拭	更衣上	更衣下	セルフケア_トイレ	排尿	排便
機能訓練偏差値	5.1	3.8	4.9	3.2	2.7	4.0	2.5	2.8	2.3	1.8	1.7
機能訓練標準偏差縮小率	18%	18%	26%	39%	43%	28%	18%	19%	16%	33%	19%
機能訓練FIM利得	8.3	6.2	2.1	0.3	0.3	0.7	0.4	0.5	0.4	0.3	0.3

	ベッド椅子	移動_トイレ	浴槽シャワー	歩行・車椅子	階段	理解	表出	社会的交流	問題解決	記憶
機能訓練偏差値	3.0	2.4	3.7	4.7	3.9	3.7	2.9	4.0	4.4	3.5
機能訓練標準偏差縮小率	28%	17%	15%	40%	2%	21%	31%	31%	19%	25%
機能訓練FIM利得	0.4	0.4	0.7	0.6	0.8	0.4	0.3	0.4	0.6	0.4

■IADL尺度

○機能訓練

合計

	開始時	終了時
n	80	80
平均	3.713	5.125
不偏分散	3.245	2.718
標準偏差	1.802	1.649
最小値	0	1
最大値	8	8

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 7.84
標準偏差縮小率 8.5%

電話

	開始時	終了時
n	80	80
平均	0.900	0.988
不偏分散	0.091	0.013
標準偏差	0.302	0.112
最小値	0	0
最大値	1	1

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 2.90
標準偏差縮小率 63.0%

買い物

	開始時	終了時
n	80	80
平均	0.300	0.588
不偏分散	0.213	0.245
標準偏差	0.461	0.495
最小値	0	0
最大値	1	1

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 6.23
標準偏差縮小率 -7.4%

食事の準備

	開始時	終了時
n	80	80
平均	0.075	0.175
不偏分散	0.070	0.146
標準偏差	0.265	0.382
最小値	0	0
最大値	1	1

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 3.77
標準偏差縮小率 -44.3%

家事

	開始時	終了時
n	80	80
平均	0.375	0.438
不偏分散	0.237	0.249
標準偏差	0.487	0.499
最小値	0	0
最大値	1	1

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 1.28
標準偏差縮小率 -2.5%

洗濯

	開始時	終了時
n	80	80
平均	0.363	0.425
不偏分散	0.234	0.247
標準偏差	0.484	0.497
最小値	0	0
最大値	1	1

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 1.29
標準偏差縮小率 -2.8%

移送の形式

	開始時	終了時
n	80	80
平均	0.400	0.775
不偏分散	0.243	0.177
標準偏差	0.493	0.420
最小値	0	0
最大値	1	1

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 7.61
標準偏差縮小率 14.8%

服薬管理

	開始時	終了時
n	80	80
平均	0.463	0.775
不偏分散	0.252	0.177
標準偏差	0.502	0.420
最小値	0	0
最大値	1	1

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 6.23
標準偏差縮小率 16.2%

財産

	開始時	終了時
n	80	80
平均	0.838	0.963
不偏分散	0.138	0.037
標準偏差	0.371	0.191
最小値	0	0
最大値	1	1

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 3.37
標準偏差縮小率 48.5%

	合計	電話	買い物	食事の準備	家事	洗濯	移送の形式	服薬管理	財産管理
機能訓練偏差値	7.8	2.9	6.2	3.8	1.3	1.3	7.6	6.2	3.4
機能訓練標準偏差縮小率	8%	63%	-7%	-44%	-2%	-3%	15%	16%	49%

■RAS

○機能訓練

合計

	開始時	終了時
n	79	79
平均	71.367	84.785
不偏分散	232.825	119.889
標準偏差	15.259	10.949
最小値	39	63
最大値	116	116

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 8.79
標準偏差縮小率 28.2%

生きがいがある

	開始時	終了時
n	79	79
平均	2.975	3.646
不偏分散	1.128	0.719
標準偏差	1.062	0.848
最小値	1	2
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 6.32
標準偏差縮小率 20.2%

自己実現力

	開始時	終了時
n	79	79
平均	2.734	3.582
不偏分散	1.121	0.734
標準偏差	1.059	0.856
最小値	1	2
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 8.01
標準偏差縮小率 19.2%

課題解決力

	開始時	終了時
n	79	79
平均	2.532	3.278
不偏分散	0.919	0.742
標準偏差	0.959	0.861
最小値	1	1
最大値	4	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 7.78
標準偏差縮小率 10.2%

自己満足度

	開始時	終了時
n	79	79
平均	2.911	3.215
不偏分散	0.979	0.889
標準偏差	0.99	0.943
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 3.07
標準偏差縮小率 4.7%

人間関係への自信

	開始時	終了時
n	79	79
平均	2.835	3.139
不偏分散	0.883	0.455
標準偏差	0.94	0.674
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 3.23
標準偏差縮小率 28.3%

将来展望

	開始時	終了時
n	79	79
平均	2.987	3.392
不偏分散	1.064	0.934
標準偏差	1.031	0.966
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 3.93
標準偏差縮小率 6.3%

自己肯定感

	開始時	終了時
n	79	79
平均	2.684	3.354
不偏分散	1.168	0.796
標準偏差	1.081	0.892
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 6.20
標準偏差縮小率 17.5%

好奇心

	開始時	終了時
n	79	79
平均	3.089	3.684
不偏分散	1.082	0.758
標準偏差	1.04	0.87
最小値	1	2
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 5.72
標準偏差縮小率 16.3%

ストレス対処

	開始時	終了時
n	79	79
平均	2.81	3.456
不偏分散	0.976	0.841
標準偏差	0.988	0.917
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 6.54
標準偏差縮小率 7.2%

成功願望

	開始時	終了時
n	79	79
平均	2.886	3.506
不偏分散	1.179	0.766
標準偏差	1.086	0.875
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 5.71
標準偏差縮小率 19.4%

生活設計

	開始時	終了時
n	79	79
平均	2.861	3.57
不偏分散	1.044	0.582
標準偏差	1.022	0.763
最小値	1	2
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 6.94
標準偏差縮小率 25.3%

人生目標

	開始時	終了時
n	79	79
平均	2.975	3.658
不偏分散	1.204	0.664
標準偏差	1.097	0.815
最小値	1	2
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 6.23
標準偏差縮小率 25.7%

目標達成への自信

	開始時	終了時
n	79	79
平均	2.873	3.595
不偏分散	1.394	0.68
標準偏差	1.181	0.825
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 6.11
標準偏差縮小率 30.1%

援助依頼（必要性の判断）

	開始時	終了時
n	79	79
平均	2.962	3.759
不偏分散	1.063	0.364
標準偏差	1.031	0.604
最小値	1	2
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 7.73
標準偏差縮小率 41.4%

援助依頼（積極性）

	開始時	終了時
n	79	79
平均	3.203	3.759
不偏分散	1.01	0.698
標準偏差	1.005	0.835
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 5.53
標準偏差縮小率 16.9%

援助依頼（実行力）

	開始時	終了時
n	79	79
平均	3.38	3.975
不偏分散	1.136	0.461
標準偏差	1.066	0.679
最小値	1	2
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 5.58
標準偏差縮小率 36.3%

共生感

	開始時	終了時
n	79	79
平均	3.152	3.367
不偏分散	0.695	0.697
標準偏差	0.833	0.835
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 2.58
標準偏差縮小率 -0.2%

楽観性

	開始時	終了時
n	79	79
平均	3.228	3.759
不偏分散	0.947	0.672
標準偏差	0.973	0.82
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 5.46
標準偏差縮小率 15.7%

支援者の存在

	開始時	終了時
n	79	79
平均	3.633	3.975
不偏分散	0.876	0.461
標準偏差	0.936	0.679
最小値	1	2
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 3.65
標準偏差縮小率 27.5%

他者との信頼関係

	開始時	終了時
n	79	79
平均	2.924	3.278
不偏分散	0.738	0.562
標準偏差	0.859	0.75
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 4.12
標準偏差縮小率 12.7%

友人意識

	開始時	終了時
n	79	79
平均	3.785	4.19
不偏分散	0.966	0.438
標準偏差	0.983	0.662
最小値	1	3
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 4.12
標準偏差縮小率 32.7%

障害の重要度の低下

	開始時	終了時
n	67	67
平均	2.925	3.224
不偏分散	1.07	0.934
標準偏差	1.034	0.966
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 2.89
標準偏差縮小率 6.6%

ハンデキャップ意識の低下

	開始時	終了時
n	79	79
平均	2.722	3.468
不偏分散	0.973	0.662
標準偏差	0.986	0.814
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 7.57
標準偏差縮小率 17.4%

障害の負担感の低下

	開始時	終了時
n	79	79
平均	2.747	3.443
不偏分散	1.038	0.917
標準偏差	1.019	0.957
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 6.83
標準偏差縮小率 6.1%

	合計	生きがい	自己実現	課題解決	自己満足度	人間関係	将来展望	自己肯定感	好奇心
機能訓練偏差値	8.8	6.3	8.0	7.8	3.1	3.2	3.9	6.2	5.7
機能訓練標準偏差縮小率	28%	20%	19%	10%	5%	28%	6%	17%	16%

	ストレス対	成功願望	生活設計	人生目標	目標達成	援助依頼	援助依頼	援助依頼	共生感
機能訓練偏差値	6.5	5.7	6.9	6.2	6.1	7.7	5.5	5.6	2.6
機能訓練標準偏差縮小率	7%	19%	25%	26%	30%	41%	17%	36%	0%

	楽観性	支援者の存	他者との信	友人意識	障害の重要	ハンデキャ	障害の負担感の低下
機能訓練偏差値	5.5	3.7	4.1	4.1	2.9	7.6	6.8
機能訓練標準偏差縮小率	16%	27%	13%	33%	7%	17%	6%

■WHO/QOL

○機能訓練

合計

	開始時	終了時
n	79	79
平均	64.709	75.139
不偏分散	103.389	81.173
標準偏差	10.168	9.01
最小値	37	55
最大値	88	93

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 10.26
標準偏差縮小率 11.4%

領域Ⅰ 身体的領域

	開始時	終了時
n	79	79
平均	2.779	3.112
不偏分散	0.21	0.164
標準偏差	0.458	0.405
最小値	1.571	2.143
最大値	3.714	4

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 7.27
標準偏差縮小率 11.6%

領域Ⅱ 心理的領域

	開始時	終了時
n	79	79
平均	2.563	3.025
不偏分散	0.249	0.217
標準偏差	0.499	0.466
最小値	1.5	2
最大値	4	4

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 9.26
標準偏差縮小率 6.6%

領域Ⅲ 社会的領域

	開始時	終了時
n	79	79
平均	2.565	2.861
不偏分散	0.451	0.346
標準偏差	0.672	0.589
最小値	0.667	1.667
最大値	4	4

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 4.40
標準偏差縮小率 12.4%

領域Ⅳ 環境

	開始時	終了時
n	79	79
平均	2.772	3.328
不偏分散	0.33	0.295
標準偏差	0.574	0.544
最小値	1.25	2.375
最大値	3.875	4.625

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 9.69
標準偏差縮小率 5.2%

領域Ⅴ 全体

	開始時	終了時
n	79	79
平均	2.342	3.019
不偏分散	0.568	0.573
標準偏差	0.753	0.757
最小値	1	2
最大値	4.5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 8.99
標準偏差縮小率 -0.5%

生活の質の評価

	開始時	終了時
n	79	79
平均	2.43	3.152
不偏分散	0.582	0.566
標準偏差	0.763	0.753
最小値	1	2
最大値	4	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 9.46
標準偏差縮小率 1.3%

健康状態の満足度

	開始時	終了時
n	79	79
平均	2.253	2.886
不偏分散	0.858	0.846
標準偏差	0.926	0.92
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 6.84
標準偏差縮小率 0.6%

障害による活動制限の緩和

	開始時	終了時
n	79	79
平均	3.468	2.899
不偏分散	1.073	0.784
標準偏差	1.036	0.886
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 5.49
標準偏差縮小率 14.5%

医療の必要度の軽減

	開始時	終了時
n	79	79
平均	3.418	2.949
不偏分散	0.99	0.895
標準偏差	0.995	0.946
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 4.71
標準偏差縮小率 4.9%

生活の充実度

	開始時	終了時
n	79	79
平均	2.418	3.165
不偏分散	0.759	0.601
標準偏差	0.871	0.775
最小値	1	2
最大値	4	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 8.58
標準偏差縮小率 11.0%

生活の意義の実感

	開始時	終了時
n	79	79
平均	2.557	3.342
不偏分散	0.84	0.766
標準偏差	0.916	0.875
最小値	1	2
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 8.57
標準偏差縮小率 4.5%

集中力

	開始時	終了時
n	79	79
平均	2.835	3.418
不偏分散	0.883	0.657
標準偏差	0.94	0.81
最小値	1	2
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 6.20
標準偏差縮小率 13.8%

生活の安全度

	開始時	終了時
n	79	79
平均	2.924	3.481
不偏分散	0.789	0.509
標準偏差	0.888	0.714
最小値	1	2
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 6.27
標準偏差縮小率 19.6%

健康的な生活環境

	開始時	終了時
n	79	79
平均	3.038	3.392
不偏分散	1.037	0.857
標準偏差	1.018	0.926
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 3.48
標準偏差縮小率 9.0%

生活への活力

	開始時	終了時
n	79	79
平均	2.772	3.456
不偏分散	0.87	0.636
標準偏差	0.933	0.797
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 7.33
標準偏差縮小率 14.6%

外見（障害）の受容

	開始時	終了時
n	79	79
平均	2.658	3.203
不偏分散	1.305	0.907
標準偏差	1.142	0.952
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 4.77
標準偏差縮小率 16.6%

経済的余裕

	開始時	終了時
n	78	79
平均	2.679	2.975
不偏分散	1	0.846
標準偏差	1	0.92
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 2.96
標準偏差縮小率 8.0%

情報を得る機会

	開始時	終了時
n	79	79
平均	2.595	3.443
不偏分散	0.706	0.635
標準偏差	0.84	0.797
最小値	1	2
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 10.10
標準偏差縮小率 5.1%

余暇機会

	開始時	終了時
n	79	79
平均	2.316	3.127
不偏分散	0.783	0.65
標準偏差	0.885	0.806
最小値	1	2
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 9.16
標準偏差縮小率 8.9%

近隣外出の機会

	開始時	終了時
n	79	78
平均	2.038	3.218
不偏分散	1.216	1.108
標準偏差	1.103	1.052
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 10.70
標準偏差縮小率 4.6%

睡眠の満足度

	開始時	終了時
n	79	79
平均	3.089	3.392
不偏分散	1.159	0.934
標準偏差	1.076	0.966
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 2.82
標準偏差縮小率 10.2%

活動力の満足度

	開始時	終了時
n	79	79
平均	2.519	3.228
不偏分散	0.586	0.64
標準偏差	0.766	0.8
最小値	1	2
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 9.26
標準偏差縮小率 -4.4%

労働能力の満足度

	開始時	終了時
n	78	79
平均	2.179	2.684
不偏分散	0.643	0.629
標準偏差	0.802	0.793
最小値	1	1
最大値	4	4

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 6.30
標準偏差縮小率 1.1%

自己満足度

	開始時	終了時
n	79	79
平均	2.114	2.633
不偏分散	0.538	0.646
標準偏差	0.734	0.803
最小値	1	1
最大値	3	4

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 7.07
標準偏差縮小率 -9.4%

人間関係満足度

	開始時	終了時
n	79	79
平均	2.722	3.304
不偏分散	0.742	0.65
標準偏差	0.861	0.806
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 6.76
標準偏差縮小率 6.4%

性生活への満足度

	開始時	終了時
n	54	56
平均	2.37	2.446
不偏分散	0.653	0.688
標準偏差	0.808	0.829
最小値	1	1
最大値	3	4

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 0.94
標準偏差縮小率 -2.6%

友人への満足度

	開始時	終了時
n	79	79
平均	3.354	3.544
不偏分散	0.796	0.764
標準偏差	0.892	0.874
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 2.13
標準偏差縮小率 2.0%

自宅環境満足度

	開始時	終了時
n	79	79
平均	2.899	3.418
不偏分散	1.041	0.81
標準偏差	1.02	0.9
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 5.09
標準偏差縮小率 11.8%

医療・福祉満足度

	開始時	終了時
n	78	78
平均	3.026	3.577
不偏分散	0.779	0.663
標準偏差	0.882	0.814
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 6.25
標準偏差縮小率 7.7%

移動環境満足度

	開始時	終了時
n	79	79
平均	2.797	3.253
不偏分散	0.958	0.833
標準偏差	0.979	0.912
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 4.66
標準偏差縮小率 6.8%

心理的負荷の軽減

	開始時	終了時
n	79	79
平均	2.797	2.392
不偏分散	0.958	0.524
標準偏差	0.979	0.724
最小値	1	1
最大値	5	4

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 4.14
標準偏差縮小率 26.0%

	合計	領域Ⅰ身体的	領域Ⅱ心理的	領域Ⅲ社会的	領域Ⅳ環境	領域Ⅴ全体
機能訓練偏差値	10.3	7.3	9.3	4.4	9.7	9.0
機能訓練標準偏差縮小率	11%	12%	7%	12%	5%	-1%

	生活の質	健康状態	障害による	医療の必要	生活の充実	生活の意識	集中力	生活の安全	健康的な生活環境
機能訓練偏差値	9.5	6.8	5.5	4.7	8.6	8.6	6.2	6.3	3.5
機能訓練標準偏差縮小率	1%	1%	14%	5%	11%	4%	14%	20%	9%

	生活への活	外見(障害)	経済的余剰	情報を得る	余暇機会	近隣外出の	睡眠の満足	活動力の満	労働能力の満足度
機能訓練偏差値	7.3	4.8	3.0	10.1	9.2	10.7	2.8	9.3	6.3
機能訓練標準偏差縮小率	15%	17%	8%	5%	9%	5%	10%	-4%	1%

	自己満足度	人間関係満	性生活への	友人への満	自宅環境満	医療・福祉	移動環境満	心理的負荷の軽減
機能訓練偏差値	7.1	6.8	0.9	2.1	5.1	6.2	4.7	4.1
機能訓練標準偏差縮小率	-9%	6%	-3%	2%	12%	8%	7%	26%

■WHO-DAS
○機能訓練

単純合計

	開始時	終了時
n	80	80
平均	100.025	79.413
不偏分散	767.366	538.144
標準偏差	27.701	23.198
最小値	30	25
最大値	150	139

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 7.44
標準偏差縮小率 16.3%

複雑集計 1

	開始時	終了時
n	80	80
平均	47.571	32.677
不偏分散	343.826	245.487
標準偏差	18.543	15.668
最小値	8.491	1.887
最大値	81.132	72.642

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 8.03
標準偏差縮小率 15.5%

複雑集計 2

	開始時	終了時
n	80	80
平均	45.693	31.291
不偏分散	347.486	229.017
標準偏差	18.641	15.133
最小値	6.522	2.174
最大値	85.87	68.478

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 7.73
標準偏差縮小率 18.8%

集中力

	開始時	終了時
n	80	80
平均	2.1	1.525
不偏分散	1.256	0.455
標準偏差	1.121	0.675
最小値	1	1
最大値	5	3

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 5.13
標準偏差縮小率 39.8%

記憶力

	開始時	終了時
n	80	80
平均	1.975	1.613
不偏分散	1.189	0.468
標準偏差	1.091	0.684
最小値	1	1
最大値	5	3

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 3.32
標準偏差縮小率 37.3%

課題解決力

	開始時	終了時
n	80	80
平均	2.5	1.875
不偏分散	1.215	0.541
標準偏差	1.102	0.736
最小値	1	1
最大値	5	4

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 5.67
標準偏差縮小率 33.2%

学習能力

	開始時	終了時
n	80	80
平均	2.425	1.825
不偏分散	1.26	0.678
標準偏差	1.123	0.823
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 5.34
標準偏差縮小率 26.7%

理解力

	開始時	終了時
n	80	80
平均	1.8	1.45
不偏分散	1.023	0.377
標準偏差	1.011	0.614
最小値	1	1
最大値	5	3

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 3.46
標準偏差縮小率 39.3%

会話能力

	開始時	終了時
n	80	80
平均	2.113	1.713
不偏分散	1.418	0.84
標準偏差	1.191	0.917
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 3.36
標準偏差縮小率 23.0%

認知小計

	開始時	終了時
n	80	80
平均	12.913	10
不偏分散	26.233	8.051
標準偏差	5.122	2.837
最小値	6	6
最大値	27	18

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 5.69
標準偏差縮小率 44.6%

立位能力

	開始時	終了時
n	80	80
平均	3.063	2.5
不偏分散	2.464	2.532
標準偏差	1.57	1.591
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 3.59
標準偏差縮小率 -1.3%

立ち上がり

	開始時	終了時
n	80	80
平均	2.613	2.225
不偏分散	2.19	2.025
標準偏差	1.48	1.423
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 2.62
標準偏差縮小率 3.9%

屋内移動能力

	開始時	終了時
n	80	80
平均	2.538	1.788
不偏分散	1.847	1.283
標準偏差	1.359	1.133
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ー計算上の数値

仮想偏差値 5.52
標準偏差縮小率 16.6%

屋外近距離移動

	開始時	終了時
n	80	80
平均	2.988	1.963
不偏分散	1.987	1.252
標準偏差	1.41	1.119
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ー計算上の数値

仮想偏差値 7.27
標準偏差縮小率 20.6%

屋外遠距離移動

	開始時	終了時
n	80	80
平均	3.375	2.563
不偏分散	2.111	2.325
標準偏差	1.453	1.525
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ー計算上の数値

仮想偏差値 5.59
標準偏差縮小率 -5.0%

可動性小計

	開始時	終了時
n	80	80
平均	14.575	11.038
不偏分散	37.311	32.847
標準偏差	6.108	5.731
最小値	5	5
最大値	25	25

1 ー計算上の数値

仮想偏差値 5.79
標準偏差縮小率 6.2%

活動力（洗体）

	開始時	終了時
n	79	80
平均	2.165	1.663
不偏分散	1.755	1.239
標準偏差	1.325	1.113
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ー計算上の数値

仮想偏差値 3.79
標準偏差縮小率 16.0%

活動力（更衣）

	開始時	終了時
n	80	80
平均	1.925	1.525
不偏分散	1.361	0.936
標準偏差	1.167	0.968
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ー計算上の数値

仮想偏差値 3.43
標準偏差縮小率 17.1%

活動力（食事）

	開始時	終了時
n	80	80
平均	1.625	1.413
不偏分散	0.845	0.549
標準偏差	0.919	0.741
最小値	1	1
最大値	5	4

1 ー計算上の数値

仮想偏差値 2.31
標準偏差縮小率 19.4%

身辺自立度

	開始時	終了時
n	80	80
平均	2.888	2.325
不偏分散	2	1.918
標準偏差	1.414	1.385
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ー計算上の数値

仮想偏差値 3.98
標準偏差縮小率 2.1%

セルフケア小計

	開始時	終了時
n	80	80
平均	8.575	6.925
不偏分散	16.096	13.665
標準偏差	4.012	3.697
最小値	4	4
最大値	20	18

1 ー計算上の数値

仮想偏差値 4.11
標準偏差縮小率 7.9%

コミュニケーション力

	開始時	終了時
n	80	80
平均	2.438	1.913
不偏分散	1.11	0.916
標準偏差	1.054	0.957
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ー計算上の数値

仮想偏差値 4.98
標準偏差縮小率 9.2%

交友関係維持

	開始時	終了時
n	80	80
平均	2.025	1.588
不偏分散	1.037	0.752
標準偏差	1.018	0.867
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ー計算上の数値

仮想偏差値 4.29
標準偏差縮小率 14.8%

身近な人との交流

	開始時	終了時
n	80	80
平均	2.063	1.475
不偏分散	1.275	0.759
標準偏差	1.129	0.871
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ー計算上の数値

仮想偏差値 5.21
標準偏差縮小率 22.9%

新しい友人を作る

	開始時	終了時
n	80	80
平均	2.55	1.938
不偏分散	1.263	0.945
標準偏差	1.124	0.972
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 5.44
標準偏差縮小率 13.5%

性行為

	開始時	終了時
n	51	54
平均	3.412	3.222
不偏分散	1.687	2.025
標準偏差	1.299	1.423
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 1.46
標準偏差縮小率 -9.5%

他者との交流小計

	開始時	終了時
n	80	80
平均	11.25	9.088
不偏分散	16.443	12.537
標準偏差	4.055	3.541
最小値	4	4
最大値	21	22

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 5.33
標準偏差縮小率 12.7%

家庭での役割

	開始時	終了時
n	78	78
平均	3.167	2.462
不偏分散	1.491	1.187
標準偏差	1.221	1.089
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 5.77
標準偏差縮小率 10.8%

家事活動(習熟度)

	開始時	終了時
n	78	78
平均	3.282	2.679
不偏分散	1.556	1.415
標準偏差	1.247	1.19
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 4.84
標準偏差縮小率 4.6%

家事活動(自立度)

	開始時	終了時
n	78	78
平均	3.5	2.756
不偏分散	1.37	1.485
標準偏差	1.171	1.219
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 6.35
標準偏差縮小率 -4.1%

家事活動(効率性)

	開始時	終了時
n	78	78
平均	3.372	2.769
不偏分散	1.613	1.582
標準偏差	1.27	1.258
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 4.75
標準偏差縮小率 0.9%

活動制限(家事)の改善

	開始時	終了時
n	80	79
平均	14.575	5.658
不偏分散	203.488	110.92
標準偏差	14.265	10.532
最小値	0	0
最大値	30	30

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 6.25
標準偏差縮小率 26.2%

仕事/学校(参加)

	開始時	終了時
n	74	74
平均	3.554	2.676
不偏分散	2.223	2.03
標準偏差	1.491	1.425
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 5.89
標準偏差縮小率 4.4%

仕事/課題(習熟)

	開始時	終了時
n	74	74
平均	3.554	2.716
不偏分散	2.004	1.987
標準偏差	1.416	1.41
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 5.92
標準偏差縮小率 0.4%

仕事(自立度)

	開始時	終了時
n	74	74
平均	3.541	2.716
不偏分散	1.896	1.932
標準偏差	1.377	1.39
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 5.99
標準偏差縮小率 -0.9%

仕事(効率性)

	開始時	終了時
n	72	73
平均	3.597	2.89
不偏分散	1.793	1.904
標準偏差	1.339	1.38
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 5.28
標準偏差縮小率 -3.1%

仕事の量・質の向上

	開始時	終了時
n	68	70
平均	1.779	1.629
不偏分散	0.174	0.237
標準偏差	0.418	0.487
最小値	1	1
最大値	2	2

1 ー計算上の数値

仮想偏差値 3.59
標準偏差縮小率 -16.5%

収入の改善

	開始時	終了時
n	69	72
平均	1.783	1.639
不偏分散	0.173	0.234
標準偏差	0.415	0.484
最小値	1	1
最大値	2	2

1 ー計算上の数値

仮想偏差値 3.47
標準偏差縮小率 -16.6%

仕事の従事日数の向上

	開始時	終了時
n	80	80
平均	16.275	9.375
不偏分散	204.328	175.199
標準偏差	14.294	13.236
最小値	0	0
最大値	30	30

1 ー計算上の数値

仮想偏差値 4.83
標準偏差縮小率 7.4%

日常生活小計

	開始時	終了時
n	78	78
平均	29.872	24.038
不偏分散	94.035	78.921
標準偏差	9.697	8.884
最小値	10	7
最大値	44	43

1 ー計算上の数値

仮想偏差値 6.02
標準偏差縮小率 8.4%

地域活動参加

	開始時	終了時
n	68	68
平均	3.559	2.897
不偏分散	1.743	1.765
標準偏差	1.32	1.329
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ー計算上の数値

仮想偏差値 5.02
標準偏差縮小率 -0.7%

環境因子(疎外因子)の改善

	開始時	終了時
n	75	76
平均	3.2	2.461
不偏分散	1.595	1.292
標準偏差	1.263	1.137
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ー計算上の数値

仮想偏差値 5.85
標準偏差縮小率 10.0%

環境因子(人的疎外因子)の改善

	開始時	終了時
n	77	77
平均	2.597	2.117
不偏分散	1.454	0.973
標準偏差	1.206	0.986
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ー計算上の数値

仮想偏差値 3.98
標準偏差縮小率 18.2%

健康改善

	開始時	終了時
n	77	77
平均	3.078	2.455
不偏分散	1.441	1.093
標準偏差	1.201	1.046
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ー計算上の数値

仮想偏差値 5.19
標準偏差縮小率 12.9%

心理的影響の改善

	開始時	終了時
n	77	77
平均	3.039	2.377
不偏分散	1.354	0.869
標準偏差	1.163	0.932
最小値	1	1
最大値	5	4

1 ー計算上の数値

仮想偏差値 5.69
標準偏差縮小率 19.9%

経済状態の改善

	開始時	終了時
n	77	77
平均	3.273	2.701
不偏分散	1.543	1.344
標準偏差	1.242	1.159
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ー計算上の数値

仮想偏差値 4.61
標準偏差縮小率 6.7%

家族の負担軽減

	開始時	終了時
n	75	75
平均	3.32	2.84
不偏分散	1.464	1.217
標準偏差	1.21	1.103
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ー計算上の数値

仮想偏差値 3.97
標準偏差縮小率 8.8%

余暇生活

	開始時	終了時
n	77	77
平均	3.026	2.26
不偏分散	1.262	0.932
標準偏差	1.124	0.965
最小値	1	1
最大値	5	5

1 ー計算上の数値

仮想偏差値 6.81
標準偏差縮小率 14.1%

社会への参加小計

	開始時	終了時
n	77	77
平均	24.506	19.662
不偏分散	58.28	43.358
標準偏差	7.634	6.585
最小値	8	7
最大値	40	35

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 6.35
標準偏差縮小率 13.7%

全体的な困難の軽減

	開始時	終了時
n	80	80
平均	17.063	7.913
不偏分散	190.54	126.41
標準偏差	13.804	11.243
最小値	0	0
最大値	30	30

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 6.63
標準偏差縮小率 18.6%

日常生活不能状態の改善

	開始時	終了時
n	80	80
平均	15.025	6.55
不偏分散	203.696	136.023
標準偏差	14.272	11.663
最小値	0	0
最大値	30	30

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 5.94
標準偏差縮小率 18.3%

日常生活不全状態の改善

	開始時	終了時
n	80	80
平均	12.35	7.238
不偏分散	192.382	138.259
標準偏差	13.87	11.758
最小値	0	0
最大値	30	30

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 3.69
標準偏差縮小率 15.2%

	単純合計	複雑集計1	複雑集計2	集中力	記憶力	課題解決力	学習能力	理解力	会話能力
機能訓練偏差値	7.4	8.0	7.7	5.1	3.3	5.7	5.3	3.5	3.4
機能訓練標準偏差縮小率	16%	16%	19%	40%	37%	33%	27%	39%	23%

	認知小計	立位能力	立ち上がり	屋内移動前	屋外近距離	屋外遠距離	可動性小計	活動力(洗)	活動力(更衣)
機能訓練偏差値	5.7	3.6	2.6	5.5	7.3	5.6	5.8	3.8	3.4
機能訓練標準偏差縮小率	45%	-1%	4%	17%	21%	-5%	6%	16%	17%

	活動力(食)	身辺自立度	セルフケア小	コミュニケー	交友関係維	身近な人と	新しい友人	性行為	他者との交流小計
機能訓練偏差値	2.3	4.0	4.1	5.0	4.3	5.2	5.4	1.5	5.3
機能訓練標準偏差縮小率	19%	2%	8%	9%	15%	23%	14%	-10%	13%

	家庭での役	家事活動(1)	家事活動(2)	家事活動(3)	活動制限(1)	仕事/学校	仕事/課題	仕事(自立)	仕事(効率性)
機能訓練偏差値	5.8	4.8	6.4	4.7	6.3	5.9	5.9	6.0	5.3
機能訓練標準偏差縮小率	11%	5%	-4%	1%	26%	4%	0%	-1%	-3%

	仕事の量・	収入の改善	仕事の従事	日常生活小	地域活動参	環境因子(1)	環境因子(2)	健康改善	心理的影響の改善
機能訓練偏差値	3.6	3.5	4.8	6.0	5.0	5.9	4.0	5.2	5.7
機能訓練標準偏差縮小率	-17%	-17%	7%	8%	-1%	10%	18%	13%	20%

	経済状態の	家族の負担	余暇生活	社会への参	全体的な困	日常生活不	日常生活不全状態の改善
機能訓練偏差値	4.6	4.0	6.8	6.3	6.6	5.9	3.7
機能訓練標準偏差縮小率	7%	9%	14%	14%	19%	18%	15%

■LSA

○機能訓練

	開始時	終了時
n	75	82
平均	31.227	53.091
不偏分散	611.265	688.235
標準偏差	24.724	26.234
最小値	3	6
最大値	100	120

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 8.84
標準偏差縮小率 -6.1%

	LSA
機能訓練偏差値	8.8
機能訓練標準偏差縮小率	-6%

■実用的歩行能力分類

○機能訓練

	開始時	終了時
n	53	53
平均	3.038	4.642
不偏分散	1.768	1.888
標準偏差	1.33	1.374
最小値	1	2
最大値	6	6

1 ←計算上の数値

仮想偏差値 12.06
標準偏差縮小率 -3.3%

	歩行能力
機能訓練偏差値	12.1
機能訓練標準偏差縮小率	-3%

